

# リアオナ



表紙の記事——

「神殿に参入してください」

14ページ

7年待ったバプテスマ, 29ページ

教会に来なくなってしまったお兄ちゃん, F12ページ

末日聖徒イエス・キリスト教会公式機関誌(日本語版)

大管長会:ゴードン・B・ヒンクレー、トーマス・S・モンソン、ジェームズ・E・ファウスト

十二使徒定員会:ボイド・K・バックナー、L・トム・ベリー、ラッセル・M・ネルソン、ダリン・H・オークス、M・ラッセル・バラード、ジョセフ・B・ワースリン、リチャード・G・スコット、ロバート・D・ヘイルズ、ジェフリー・R・ホランド、ヘンリー・B・アイリング、ディーター・F・ウークトドリス、デビッド・A・ベドナー

編集長:ジェイ・E・ジェンセン

顧問:ゲアリー・J・コールマン、菊地良彦、ジェラルド・N・ランド、W・ダグラス・シャムウェー

実務運営ディレクター:デビッド・L・フリッシュニクト

編集ディレクター:ピクター・D・ケーブ

主任編集者:ラリー・ヒラー

グラフィックスディレクター:アラン・R・ロイボーク

編集主幹:R・バル・ジョンソン

編集主幹補佐:ジェニファー・L・グリーンウッド

副編集長:ライアン・カー、アダム・C・オルソン

編集補佐:スーザン・バレット

編集スタッフ:クリスティアー・バンス、リンダ・ステール・クーパー、デビッド・A・エドワーズ、ラリー・ポーター・ガント、キャリー・カステン、メリッサ・メルリ、マイケル・R・モリス、サリー・J・オドカーク、ジュディス・M・パーラー、ビビアン・ポールセン、リチャード・M・ロムニー、ジェニファー・ローズ、ドン・L・サール、ジャネット・トーマス、ポール・バンテンバーグ、ジュリー・ワーデル、キンバリー・ウェブ

主任秘書:モニカ・L・ディッキンソン

マーケティング部長:ラリー・ヒラー

実務運営アートディレクター:M・M・カワサキ

アートディレクター:スコット・バン・カンペン

制作主幹:ジェン・アン・ピーターズ

デザイン・制作スタッフ:カリ・R・アロウ、コレット・ネベカー・オース、ブリタニー・ジョーンズ・ピーム、ハワード・G・ブラウン、ジュリー・パーデッド、トーマス・S・チャイルド、レジナルド・J・クリステンセン、キャスリーン・ハワード、エリック・P・ジョンセン、デニス・カービー、ランドール・J・ピクストン

印刷ディレクター:クレーグ・K・セジウィック

配送ディレクター:ランディー・J・ベンソン

日本語版翻訳課長:ヘンリー・W・サブストローム

●定期購読は、「リアホナ」注文用紙でお申し込みになるか、郵便振替(口座名/末日聖徒イエス・キリスト教会 振替口座番号/00100-6-41512)にて教会管理本部配送センターへご送金いただければ、直接郵送いたします。●「リアホナ」のお申し込み・配送についてのお問い合わせ……〒133-0057東京都江戸川区西小若5-8-6/末日聖徒イエス・キリスト教会 管理本部配送センター 電話:03-5668-3391

発行所 末日聖徒イエス・キリスト教会

〒106-0047東京都港区南麻布5-10-30

電話 03-3440-2351

年間予約/海外予約 1,800円(送料共)

半年予約 1,200円(送料共)

普通号/大会号 200円

「リアホナ」への投稿およびご質問は、下記の連絡先にお送りください。

Room 2420, 50 East North Temple Street,

Salt Lake City, UT 84150-3220, USA

電子メール: liahona@ldschurch.org

「リアホナ」(モルモン書に出てくる言葉。「羅針盤」または「指示器」の意)は、以下の言語で出版されています。

アイスランド語、アヒ(ニア)語、アルメニア語、イタリア語、インドネシア語、ウクライナ語、ウルドゥー語、英語、エストニア語、オランダ語、韓国語、カンボジア語、ギリシャ語、キリバス語、クアアチア語、サモア語、シンハラ語、スウェーデン語、スペイン語、スロベニア語、セブア(語)、タイ語、タガログ語、タヒチ語、タミル語、中国語、チェコ語、テルグ語、デンマーク語、ドイツ語、トンガ語、日本語、ブルウエー語、ハイチ語、ハンガリー語、ヒスマラ語、ヒンディー語、フィジー語、フィンランド語、フランス語、ブルガリア語、ベトナム語、ポーランド語、ポルトガル語、マルシャル語、マダガスカル語、モンゴル語、ラトビア語、リトアニア語、ルーマニア語、ロシア語。(発行頻度は言語により異なります。)

©2007 Intellectual Reserve, Inc. 著作権所有。印刷:日本

「リアホナ」に掲載されている文章や視覚資料は、教会や家庭において臨時に、また非営利目的に使用することは複製することができます。視覚資料に関しては、作品のクレジットに制限が記されている場合に複製できないことがあります。著作権に関するご質問は、Intellectual Property Office, 50 East North Temple Street, Salt Lake City, UT 84150, USAに郵送するか、電子メール——cor-intellectualproperty@ldschurch.org にご連絡ください。[「リアホナ」は、教会のホームページwww.lds.org(英語)に様々な言語で掲載されています。英語の場合は「Gospel Library」(福音図書館)をクリックしてください。その他の言語は言語名をクリックしてください。]

For Readers in the United States and Canada:

October 2007 no. 10 LIAHONA [USPS 311-480] Japanese [ISSN 1521-4729] is published monthly by The Church of Jesus Christ of Latter-day Saints, 50 East North Temple, Salt Lake City, UT 84150, USA subscription price is \$10.00 per year; Canada, \$12.00 plus applicable taxes. Periodicals Postage Paid at Salt Lake City, Utah. Sixty days' notice required for change of address. Include address label from a recent issue; old and new address must be included. Send USA and Canadian subscriptions to Salt Lake Distribution Center at address below. Subscription help line: 1-800-537-5971. Credit card orders (Visa, MasterCard, American Express) may be taken by phone. (Canada Post Information: Publication Agreement #40017431)

POSTMASTER: Send address changes to Salt Lake Distribution Center, Church Magazines, PO Box 26368, Salt Lake City, UT 84126-0368.

一般

2 大管長会メッセージ——

偉大な模範に倣う

大管長会第一顧問

トーマス・S・モンソン管長

8 寺院の国で先祖に心を向ける

アダム・C・オルソン

14 神殿に参入してください

十二使徒定員会会長代理

ボイド・K・バックナー会長

25 家庭訪問メッセージ——

主の再臨に備えることによって、

神の御手に使われる者となる

26 読み書きの能力でより良い人生を送る

32 皆の強さのために——中央若い女性会会長へのインタビューから

40 同性に引かれる問題に苦しむ人々を助ける ジェフリー・R・ホランド長老

44 末日聖徒の声

ジルベルト伯父さんの記憶 エスター・ラビベ・デ・ベルーベン

教会への送迎 スティーブン・ベア

わたしの頭をつかんだのはだれ ヒルド・ロジロ・フロレス

ホームティーチャーとの祈り ジュディ・ストーン

48 読者からの便り



8 寺院の国で先祖に心を向ける

表紙

表紙——写真/ローレン・フォシェット、写真はイメージです

裏表紙——写真/左から時計回りに——韓国ソウル神殿/フロイド・ホルドマン、デンマーク・コペンハーゲン神殿と天使モロナイ像/クレーグ・ダイモンド、ガーナ・アクラ神殿/ノーマン・チャイルズ、ワシントンD.C.神殿/クリスティアー・スミス

「フレンド」表紙

絵/スティーブ・クロップ

家庭の夕べのためのアイデア

以下のアイデアは、家庭だけではなくクラスでのレッスンにおいても役立つことができます。皆さんの家庭やクラスに合わせて変更を加えてもよいでしょう。

「神殿に参入してください」14ページ——

この記事の中にある、神殿で行われる儀式を挙げ、神殿での礼拝がもたらす祝福について話し合います。神殿に入る備えをする方法についてアイデアを出し合います。

「始まりまで堪え忍ぶ」29ページ——家族の大好きなごちそうを作ります。全員が見たり匂いをかいだり

できるように並べます。すぐに食べた気持ちを抑えて待つようにと言います。マリアの話をします。大好きなごちそうを食べるのを待つことと、マリアがバプテスマと確認の儀式を待たなければならなかったことを比べます。

「皆の強さのために」

32ページ——1週間前に、『若人の強さのために』に書かれている標準の一つを選び、それについて短い話を準備するよう、家族の一人一人に伝えておきます。それぞれが話をした後、その週に家族で取り組みたい標準の一つか二つ選びます。





29 始まりまで堪え忍ぶ

## 青少年

- 19 預言者<sup>あかし</sup>についての証  
クラウドイオ・R・M・コスタ長老
- 22 質疑応答  
ある日、ニューファイ第一書第7章12節を読みました。そこにはわたしたちが主を信じる信仰を働かせれば、主はわたしたちのために何でもおできになると書かれています。どのようにすればキリストを信じる信仰を働かせることができるでしょうか。
- 29 始まりまで堪え忍ぶ  
マリア・カネバ
- 38 たぐいまれな本、たぐいまれな答え  
グリゴール・A・タデポーシャン
- 49 ポスター——この世の平安

19 預言者についての証



今月号のどこかに隠れている  
モンゴル語のCTRリングをさがしながら、  
自分の証をほかの人に伝えるために  
できることを考えてください。

【空のカート】F2ページ——レッスンの前に、家族の名前を一人ずつ小さな紙に書いておきます。ジェームズ・E・ファウスト管長の話をした後、記事の終わりにある質問について話し合います。名前の書いてある紙を、家族一人一人に1枚ずつ引いてもらいます。その週に、自分が引いた人に対して、気づかないところでこっそりと奉仕ができるよう努力してもらいます。

【お兄ちゃんがいないと】F12ページ——本文を読み、ナタリーがどのようにお兄さんを助けたかについて話し合います。家族にヨハネの第一の手紙第4章21節を読んでもらいます。「兄弟を……愛す[る]」とはどのような意味かについて話し合います。教

会へあまり来ない友達に短い手紙を書けるよう子供を手伝ってあげてもよいですし、子供たち自身が、初等協会の集会もしくは次回行われる活動にその友達を招待してもよいでしょう。

## フレンド

- F2 預言者の声——空のカート ジェームズ・E・ファウスト管長
- F4 分かち合いの時間——  
あなたがたのよろこびはいかに大きいことか  
エリザベス・リックス
- F6 スペンサー・W・キンボールだいかんちょうのしょうがいから——しれんをのりこえる
- F8 小さなお友だちへ——  
神の栄光は英知である デビッド・A・ペドナー長老
- F10 歌——家庭 キャロライン・アイリング・マイナー、  
K・ニューエル・デイリー
- F11 色をぬりましょう
- F12 お兄ちゃんがいないと  
シーラ・キンドレッド
- F14 友だちになろう——  
信仰をはぐくむ  
モンゴルの  
ウランバートルに住む  
ヨンドンジャムツ  
ドン・L・サール、  
ジュリー・ワーデル

F12 お兄ちゃんがいないと



### 今月号に採り上げられているテーマ

Fは「フレンド」の略	
証 <sup>あかし</sup> ……19, F4	救いの計画 ……40
アロン神権 ……F14	青少年のプログラム
イエス・キリスト ……29, 32	聖文 ……38, F8
祈り ……2, 22, 25, 40	知識 ……F8
家族 ……F10	伝道
家庭訪問 ……25	・19, 29, 38, F4, F11
家族歴史 ……8, 44, 46	同性に引かれること ……40
儀式 ……14	忍耐 ……29
教育 ……26, F8	標準 ……32
キンボール	フェローシップ
スペンサー・W ……F6	・29, 45, F12
困難を乗り越える	奉仕 ……45, 47, F2
・29, 40, 47, F6	ホームティーチング ……6, 47
再臨 ……25	ユーモア ……F6
従順 ……2, 19, 32	預言者に従う ……2, 19
準備 ……25	読み書きの能力 ……26
初等協会 ……F4	『若人の強さのために』
信仰 ……2, 22, 29, F14	・…32
神殿の業 ……8, 14, 47	





# 偉大な模範に倣う

大管長会第一顧問

トーマス・S・モンソン管長

**何**年も前、教会の機関誌の表紙を見て感銘を受けました。カール・ブロックの描いたすばらしい絵が使われていたのです。主の導きを受けたこの画家が心でとらえ、優れた技術で画布に描いたのは、ザカリヤの妻エリサベツが、イエスの母マリヤを歓迎している場面でした。二人とも男児を産む予定でした。それは奇跡によるものでした。

エリサベツの産んだ子は、バプテスマのヨハネとして知られるようになります。マリヤの子イエスも、このヨハネも、青少年のころの記録はほとんどありません。たった一つの文が、誕生してから人前で教え導き始めるまでのヨハネの人生のすべてを物語っています。「幼な子は成長し、その霊も強くなり、そしてイスラエルに現れる日まで、荒野にいた。」<sup>1</sup>

ヨハネのメッセージは簡潔でした。信仰、悔い改め、水に沈めるバプテスマ、そして自身の権能よりも偉大な権能によって聖霊が授けられることを説いたのです。ヨハネは自分の忠実な弟子たちにこのように語りました。「わたしはキリストではなく、そのかたよりも先につかわされた者である。」<sup>2</sup>「わたしは水でおまえたちにバプテスマを授けるが、わたしよりも力のあるかたが、おいでになる。……このかたは、聖霊と火によっておまえたちにバプテスマをお授けになるであろう。」<sup>3</sup>

それからバプテスマのヨハネによってキリストにバプテスマが施されます。後にイエスはこう証あかしされました。「女の産んだ者の中で、バプテ

スマのヨハネより大きい人物は起おこらなかった。」<sup>4</sup>

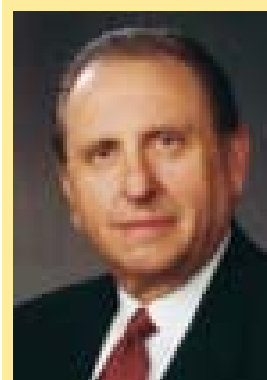
わたしたちは皆、判断基準を必要としています。倣うべき模範が要るのです。バプテスマのヨハネは真の謙遜けんそんさという完全な模範をわたしたちに示しています。ヨハネは常に自分の後に来られる御方、人類の救い主に服従したのです。

## 信仰の模範

神を信頼し、その教えに従った人々について学ぶとき、細い声が心にこう語りかけてきます。「静まって、わたしこそ神であることを知れ。」<sup>5</sup>これらの人々は確固として神の戒めを守り、神を信頼し、祝福を受けたのです。その模範に倣うなら、わたしたちもこの時代にあって同様の祝福を受けることでしょうか。一人一人が、倣うべき模範となるのです。

聖書の中に記されているアブラハムとイサクの美しい物語は、多くの人に親しまれています。アブラハムにとって、最愛の息子をモリヤの地に連れて行くという神の命令に従うことは、どれほど耐え難いことだったでしょう。息子を燔祭ほんさいとしてささげなければならなかったのです。薪を集め、示された地に向けて旅立ったときのアブラハムの深い悲しみが想像できるでしょうか。苦痛で全身を震わせ、心の張り裂けそうな思いで、アブラハムは「イサクを縛って祭壇のたきぎの上に載せ」ました。

「そしてアブラハム〔は〕手を差し伸べ、刃物を執ってその子を殺そうと」したのです。その



神を信頼し、その教えに従った人々について学ぶとき、細い声が心にこう語りかけてきます。「静まって、わたしこそ神であることを知れ。」その模範に倣うなら、わたしたちもこの時代にあって同様の祝福を受けることでしょうか。一人一人が、倣うべき模範となるのです。

アには  
神の戒めに  
従うという  
確固とした信仰が  
ありました。  
わたしたちも常に  
その模範に倣うことが  
できますように。  
神が語られ、  
人がそのとおりに  
行うならば、  
人は常に正しいのです。  
これこそ、  
この世で学ぶべき  
最大の教訓なのです。

とき発せられた神の声の何と輝かしく、何と驚くべきものだったことでしょう。「わらべを手にかけてはならない。また何も彼にしてはならない。あなたの子、あなたのひとり子をさえ、わたしのために惜しまないので、あなたが神を恐れる者であることをわたしは今知った。」<sup>6</sup>

アブラハムは完全な従順の模範としてふさわしい人です。

わたしたちの中で、耐えられそうにもない試練と闘っていると感じる人がいれば、ヨブについて読みましょう。そうするなら、このような気持ちを抱くはずです。「ヨブは耐えて、打ち勝ったのだから、自分もやってみよう。」

ヨブは「<sup>まった</sup>全く、かつ正し〔い〕」人で、「神を恐れ、悪に遠ざか」っていました。<sup>7</sup> 信心深く、裕福であったヨブは、どのような人にも耐えられないような試練に遭います。財産を奪われ、友

なう者は生きておられる……。」<sup>10</sup>

ヨブはいかなる状況にあっても忍耐することの模範になりました。今日でも長く堪え忍ぶ人を指して、「ヨブのような忍耐力」があると言います。ヨブは倣うべき模範を示しています。

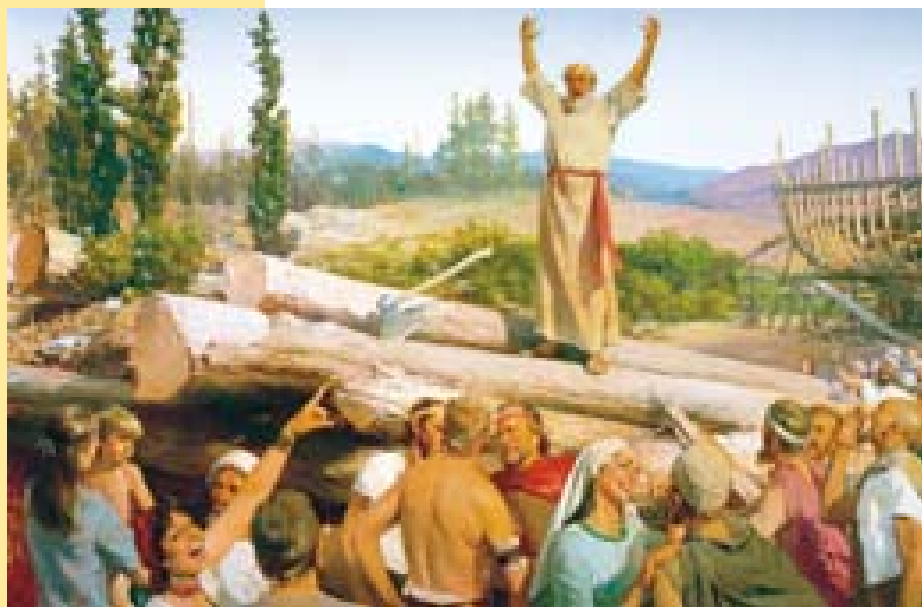
### 従順に生きる

「その時代の人々の中で正しく、かつ全き人である……神とともに歩んだ」<sup>11</sup> 人とは、預言者ノアのことです。若いときに神権に聖任されたノアは「義を説く者となり、信仰、悔い改め、バプテスマ、そして聖霊が授けられることについて教え、イエス・キリストの福音を宣言し」ました。<sup>12</sup> ノアは、自分の声を聞きながらそれに従わない者は洪水にのみ込まれると警告しました。しかし人々は耳を傾けなかったのです。

ノアは神に命じられたとおりに箱船を造りました。ノアとその家族が破滅を逃れるためです。また、神の啓示に従って箱船の中にすべての生き物を二つ、またはそれ以上の数ずつ入れました。生き物も洪水から救われるようにするためです。

スペンサー・W・キンボール大管長(1895 - 1985年)は半世紀以上も前の総大会でこう教えました。「雨や洪水の徴候は見られませんでした。……〔ノアの〕警告は不合理に思われました。……乾いた大地の上に箱船を造ることは、何と愚かに見えたことでしょう。太陽はいつものように輝き、あらゆる生命が育っているのです。しかし、時は満ちました。……大洪水が起こったのです。不従順な人々……は水にのみ込まれました。箱船の奇跡は、箱船を造るという信仰の表れがあって初めて起こったのです。」<sup>13</sup>

ノアには神の戒めに従うという確固とした信仰がありました。わたしたちも常にその模範に倣うことができますように。神の知恵は人にとって愚かに見えることもありますが、神が語られ、わたしたちがそのとおりに行うならば、わたしたちは常に正しいのです。これこそ、この



人からあざけられ、苦痛を味わったうえ、家族を失って打ちひしがれたヨブは、「神をのろって死になさい」<sup>8</sup> と言われます。しかし、この誘惑を退け、ヨブはその気高い心の奥底からこう宣言します。「見よ、今でもわたしの証人は天にある。わたしのために保証してくれる者は高い所にある。」<sup>9</sup> 「わたしは知る、わたしをあが



世で学ぶべき最大の教訓なのです。

ルツは理想の女性の模範です。二人の立派な息子を失って悲嘆に暮れる姑、ナオミの気持ちを察したルツは、ナオミの心を深く苦しめる絶望と孤独を感じ取ったのでしょう。そして現在あまりにも有名となったこの言葉で忠誠心を示したのです。「あなたを捨て、あなたを離れて帰ることをわたしに勧めないでください。わたしはあなたの行かれる所へ行き、またあなたの宿られる所に宿ります。あなたの民はわたしの民、あなたの神はわたしの神です。」<sup>14</sup> ルツはその行いによって、自分の言葉に偽りがな

いことを示しました。ナオミへの揺るぎない忠誠心は、ルツをボアズとの結婚へと導きます。そして、外国人でありモアブ人の改宗者であるルツは、ダビデの曾祖母に、つまり、わたしたちの救い主イエス・キリストの祖先になるのです。

### 従順の模範

次に、モルモン書の力強い預言者について話したいと思います。リーハイとサラリアの息子、ニーファイです。ニーファイは神に忠実で従順であり、勇敢で大胆でした。ラバンから真鍮の版を手に入れるという困難な使命にもつぶやかず、こう宣言しました。「わたしは行って、主が命じられたことを行います。主が命じられることには、それを成し遂げられるように主によって道が備えられており、それでなくては、主は何の命令も人の子らに下されないことを承知しているからです。」<sup>15</sup> 恐らく、ニーファイのこの勇敢な行為が基一節が生まれたのではないのでしょうか。

#### 昔の預言者

ニーファイの示現……

強く正しき棒、

とりて頼れ

そは神のみ言葉

導きまさん<sup>16</sup>



ニーファイは不動の決意の模範です。

この神権時代の最初の預言者であるジョセフ・スミス抜きに、わたしたちが倣うべき模範を完全に語ることはできません。この勇気ある青年はわずか14歳のときに、後に聖なる森と呼ばれる木立に入り、心からの祈りに対する答えを受けました。

森の中で受けた栄えある示現について人々に話してからというもの、ジョセフは容赦のない迫害を受けることとなります。しかし、あざけられ、さげすまされても、ジョセフは確固とした姿勢を崩しませんでした。彼は次のように語っています。「わたしは示現を見た。わたしはそれを知っていた。神がそれを御存じであるのを、わたしは知っていた。わたしはそれを否定できず、またそうする勇気もなかった。」<sup>17</sup>

とどまるところを知らない妨害を受けながらも、一歩ずつ、主の手に常に導かれて、ジョセフは末日聖徒イエス・キリスト教会を組織しました。ジョセフは行いのすべてを通して勇敢さを示しました。

晩年、ジョセフは兄のハイラムとともにカーセージの監獄に連行され、それから起こるであろう出来事に勇敢に立ち向かいました。ジョセフは何が自分を待ち受けているかを確かに知っていました。そして、自らの血をもって自分の証を結び固めたのです。

人生の試練に立ち向かうとき、預言者ジョセフ・スミスが示した、ひるむことない勇気に絶えず倣おうではありませんか。

こ ん にち  
**今** 日、  
わたしたちには、  
もう一人の  
神の預言者、  
愛するゴードン・B・  
ヒンクレー大管長が  
与えられています。  
ヒンクレー大管長は、  
世界中の教会員が  
神聖な祝福に  
あずかれるように、  
絶え間なく  
働いてきました。

## 楽観主義の模範

今日、わたしたちには、もう一人の神の預言者、愛するゴードン・B・ヒンクレー大管長が与えられています。ヒンクレー大管長は、教会歴史上、数のうえでも地図の上でも最も大きな広がりを見せている教会を管理してきました。教会の大管長が今までに訪れたことのない国々を訪れ、世界各地の政府の指導者や教会員と言葉を交わしてきました。ヒンクレー大管長が人々に対して抱いている愛は、言語や文化の壁を越えています。

預言者としての洞察力をもって、ヒンクレー大管長は永代教育基金を設立しました。この基金は世界中の多くの地域において、何世代にもわたる貧困から教会員が抜け出せるようにします。若い男性や女性に技術と訓練を提供して、良い収入の職業に就くための資格が得られるようにするのです。靈感を通して与えられたこの計画は、状況を変えることは不可能だとあきらめていた人々の目に希望の光をともし、今では輝かしい未来を手にする機会を与えているのです。

ヒンクレー大管長は、絶え間なく働き、世界中の教会員が神聖な祝福にあずかれるよう、すべての教会員が足を運べる距離に神殿を建設してきました。大管長には、どのような状況にある人も、どのような宗教の人も、さらに高い標準に添って生活するように鼓舞する力があります。大管長の持つ、常に物事を楽観的にとらえる姿勢は、わたしたちの模範です。わたしたちは大管長を、預言者、聖見者、啓示者として敬っています。

これまでに語ってきた人々の特質は、わたしたちが将来、問題や試練に立ち向かう際、何にも代え難い助けとなります。カリフォルニア州オークランドに住む、ポラード家族の経験を例に挙げて説明しましょう。

## ある家族の信仰

数年前、タアビリ・ジョセフ・サミュエル・ポラード長老がジンバブエでの任期を終える最後の日に、伝道本部へ向かっている途中のことでした。運転していた伝道部の車が何らかの理由でスピンし、木に衝突したのです。通りすがりの人によってポラード長老の同僚は救出されました。しかし、ポラード長老は意識不明のまま炎上する車の中に閉じ込められ、死亡しました。母親は8年前に亡くなっていたため、父親が一人で家族を支えていました。ポラード長老の兄弟の一人は西インド諸島伝道部で伝道して

いました。ポラード長老の訃報が届けると、すでに妻を亡くしているこの謙遜な父親は、長老の死を知らせるために西インド

## ホームティーチャーへの提案

このメッセージをよく祈って研究した後、あなたが教える人々の参加を促すような方法を用いて分かち合ってください。いくつかの例を以下に紹介します。

1. 家族に何かあまりなじみのないものを描いてもらう(例——遠くの国の地図や珍しい花)。次に、実際の写真を渡して、それを描いてもらう。手本があると、どのように役立つだろうか。預言者を人生の模範とすることについてのモンソン管長の言葉を読む。預言者の模範が自分にとってどのような助けとなったかについて、個人的な経験を紹介する。

2. 次の質問をする。「今日、世の中の人にはだれに従っているでしょうか。人々が手本としているそれらの男女にはどのような特質がありますか。」本文に述べられた義の模範とこの世の模範を比較する。義にかなった男女が模範として示している霊的な資質の中から手本としたいものを選び、実践するよう家族に勧める。

3. 家族に小さな子供がいれば、手をたたく、うなずくなどの動作をまねてもらう。人の手本に倣うとはどのようなことかについて話し合う。義にかなった模範にはどのようなものがあるか考えるように勧める。家族の出した意見に加え、本文の中から例を紹介する。最後に、イエス・キリストは倣うべき最も偉大な模範であるというモンソン管長の証を伝える。

諸島で伝道する息子に電話をかけました。二人が悲嘆に暮れ、意気消沈していたことは言うまでもありません。長距離電話を通して、ポラード兄弟とその息子はともに「神の子です」<sup>18</sup>を歌いました。電話を切る前に、父親は天の御父に祈りをささげ、神の恵みに感謝し、御父からの慰めを求めました。

ポラード兄弟は後に、「家族は問題なくやっていると知っています。福音と救いの計画に対する強い証がありますから」と語りました。

兄弟姉妹の皆さん、この驚くべき、時満ちる神権時代にあつて、わたしたちが現世を旅し、将来様々な試練やチャレンジに立ち向かうとき、これらの倣うべき模範を忘れないでください。バプテスマのヨハネの真の謙遜さを身に付けることができますように。アブラハムの完全な従順、いかなる状況にあつてもあきらめないヨブの忍耐、ノアの確固とした信仰、ルツの揺るぎない忠誠心、ニーファイの不動の決意、預言者ジョセフ・スミスのひるむことのない勇気、ヒンクレー大管長の常に物事を楽観的にとらえる姿勢を、わたしたちも身に付けることができますように。これらは人生における力のとりとなるのです。



## 主を模範とする

最高の模範を示してください、マリヤの息子、救い主イエス・キリストに常に導かれますように。その人生はまさに、わたしたちが倣うべき完全な模範です。

馬屋にお生まれになり、かいばおけに寝かされたこの幼子<sup>おさなご</sup>は、死すべき人間としてこの地上に生活するために降臨され、神の王国を確立されたのです。この地上で教え導く業に携わっておられる間に、人々に高度な律法をお授けになりました。その栄光に満ちた福音は、世界の人々の考え方に新しい命を吹き込みました。病氣の人を祝福し、歩けない人を歩けるようにし、目の見えない人を見えるようにし、耳の聞こえない人を聞こえるようにされました。また死者をよみがえらせることすらなされたのです。

救い主の憐れみのメッセージ<sup>あわれみ</sup>、知恵にあふれた言葉、人生の教訓に対して人々はどう反応したのでしょうか。主を認めた人はごくわずかでした。彼らは主の足を洗い、御言葉<sup>みことば</sup>を学び、その模範に従いました。

主を拒んだ人もいました。「それではキリストといわれるイエスは、どうしたらよいか」<sup>19</sup>とピラトが尋ねたとき、民衆はこう答えたのです。「十字架につけよ。」<sup>20</sup>民衆は主を嘲弄<sup>ちやうろう</sup>し、酸いぶどう酒を飲ませようとしました。ののしり、葦<sup>あし</sup>の棒で打ちつけ、つばきを吐きかけました。そして十字架にかけたのです。

いつの時代にあっても、イエスからのメッセージは同じです。主は美しいガリラヤの海辺で、ペテロとアンデレに言われました。「わたしについてきなさい。」<sup>21</sup> また、いにしへのピリポに告げられました。「わたしに従ってきなさい。」<sup>22</sup> 収税所に座っていたレビ人を招かれました。「わたしに従ってきなさい。」<sup>23</sup> そしてわたしたちも聞く耳を持ちさえすれば、同じ言葉で招かれるでしょう。「わたしに従ってきなさい」と。わたしたちも皆、同じようにキリストに従い、主

が生涯を通して示された模範に倣う人々に与えられる永遠の報いを刈り取ることができますように。■

## 注

1. ルカ1:80
2. ヨハネ3:28
3. ルカ3:16
4. マタイ11:11
5. 詩篇46:10
6. 創世22:9-10, 12
7. ヨブ1:1
8. ヨブ2:9
9. ヨブ16:19
10. ヨブ19:25
11. 創世6:9
12. Bible Dictionary, "Noah"の項, 738-739
13. 『聖徒の道』1981年9月号42参照
14. ルツ1:16
15. 1ニーファイ3:7
16. ジョセフ・L・タウンゼント(1849-1942年)『賛美歌』176番
17. ジョセフ・スミス—歴史1:25
18. ナオミ・W・ランドール(1908-2001年)『賛美歌』189番
19. マタイ27:22
20. マルコ15:13
21. マタイ4:19
22. ヨハネ1:43
23. ルカ5:27

い どの時代にあっても、イエスからのメッセージは同じです。「わたしについてきなさい。」



# 寺院の国で 先祖に心を向ける

アダム・C・オルソン

教会機関誌

1971年、バプテスマの準備をしていた李炯參<sup>リチュンツァン</sup>を交えて教会員と宣教師が自分たちのバプテスマについて話していた時のことです。教会員たちは、「バプテスマは力強い、霊を鼓舞する経験である」と話しました。しかし、李兄弟がバプテスマの水から出た後に感じた言いようのない無力感は、期待外れで、一般に聞くバプテスマの感想とは懸け離れたものでした。

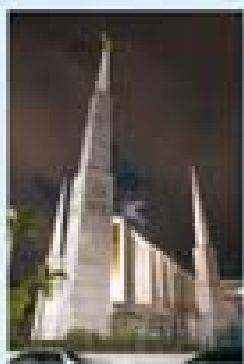
李兄弟は17歳のときに台湾の台北市でバプテスマと確認の儀式を受けました。その数年前からキリスト教を受け入れてはいました。しかし、モルモン書を読んで心を打たれるまで、求めている平安を見いだせずにはいました。

李兄弟はこう述べています。「御霊をととても強く感じました。聖霊が、これが真実の教会だと教えてくださったのです。」

そのため、教会員になったというのに、なぜむなしさを感じるのか理解できませんでした。そこで、急に無力感にさいなまれるようになった訳を知るために祈りました。すると、思いがけない答えを受け、それによって彼の人生の進路が決まりました。

「神殿の業を行うために自分の先祖を探すなら、力が得られるでしょう」と御霊がささやいたのを彼は今でもよく覚えています。

それ以来35年以上にわたって、台湾の中興<sup>チュンシン</sup>ステーキ虎尾<sup>フウエイ</sup>ワードに所属する李兄弟は、家族



**先祖を敬うことが  
生活の重要な一部と  
なってきた台湾では、  
由緒ある寺院が  
随所に見られます。  
台湾台北神殿  
(上、右ページの  
挿入写真)は、  
李家族(右ページの  
挿入写真)のような  
会員にとって  
先祖を敬うことが  
永遠の意味を持つ  
場所になっています。**

歴史と神殿奉仕に自らをささげてきました。李兄弟は奥さんの李麗雪<sup>リスズエ</sup>と一緒に系図を調べ、先祖をほぼ5,000年前の黄帝(訳注——古代中国を治めたとされる8人の帝王たちの一人)にまでさかのぼることができました。黄帝は漢民族の始祖であると言われていています。李兄弟たちは10万を超える人々の名前を神殿に提出しました。

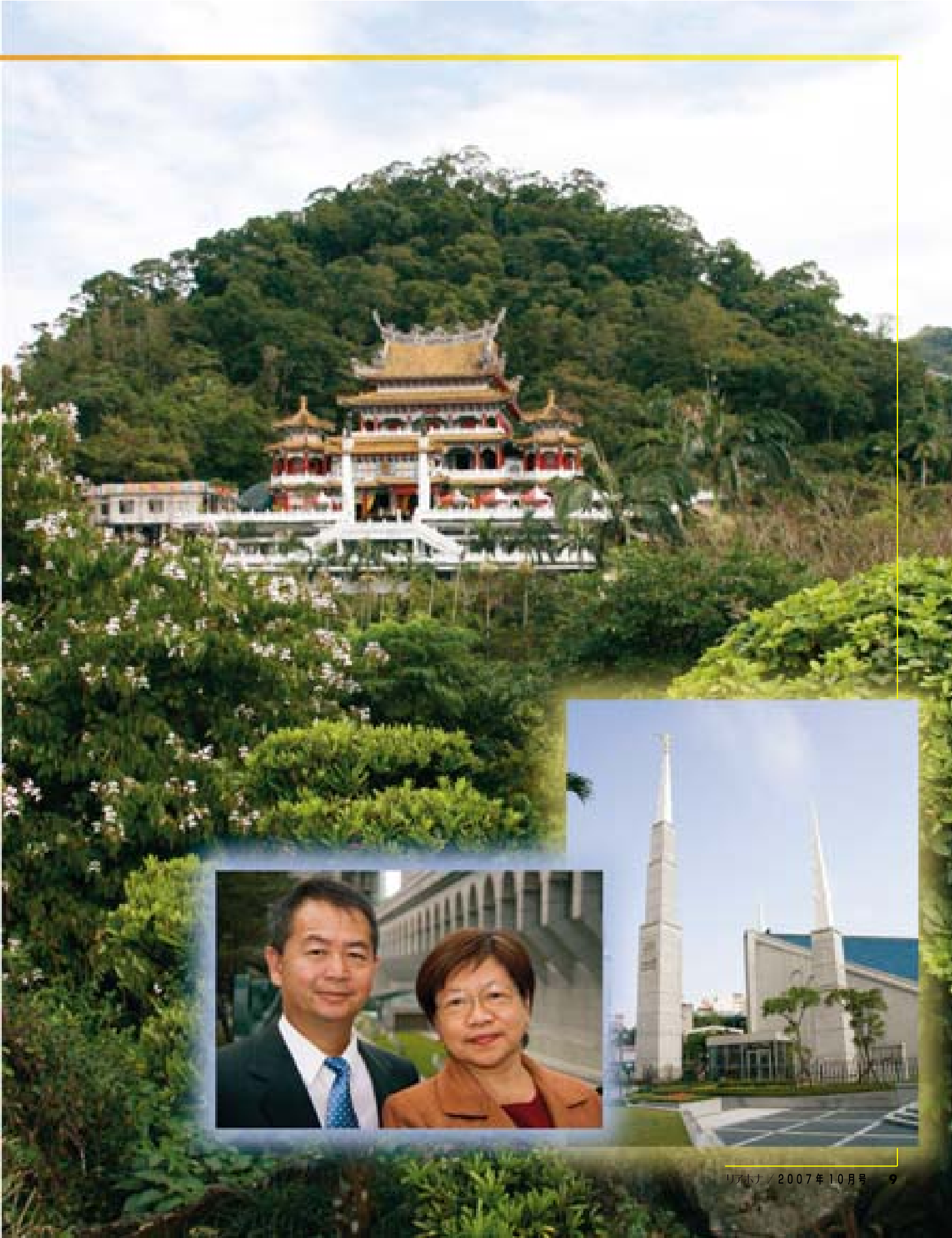
李兄弟はこのように述べています。「家族歴史の業の壮大さに、圧倒されることがあります。しかし、先祖に祝福をもたらしたいという願いは豊かに報われます。」

台湾の末日聖徒は様々な経験により、密接なつながりを持つ家族歴史と神殿の業の責任を果たすことによって祝福がもたらされるという証を培ってきました。

## 寺院の国

台湾には多くの異なる寺院があり、先祖を敬う慣習は台湾の長く豊かな歴史の一部となっています。多くの家庭は何世代も前の先祖までさかのぼる記録を保管しています。無数の由緒ある寺院は、人々が自分の先祖と交わりを持つことができると信じている場所です。入念な技巧で造られたこれらの寺院は、雑踏でにぎわう台北の随所に見られます。何世紀も前に建てられた古い寺院もあります。また、静かな田園地帯に広がる緑の合間にも、生い茂る草木と一緒に生えてきたかのように寺院の建物が散在しています。

李兄弟はこう語ります。「台湾の伝統的な信仰では先祖をととても大切にしています。先祖に心を向けることは、台湾の文化の一部です。」







ほとんどの人は、先祖から祝福を受けるためにこれらの寺院に参拝します。しかし、それらの寺院とは別に、台湾には回復された福音の儀式を通して先祖に祝福をもたらす宮があります。

1984年に奉献されて以来、台湾台北神殿は教員に祝福を得る機会をもたらしてきました。さらに、亡くなった親族に祝福をもたらす機会を提供することにより、彼らの家族歴史記録に永遠の意義を持たせてきました。

### 特別なきずな

李家族と同様、吳家族も黄帝までさかのぼる系図を調べました。その作業をすることにより、吳家族の子供たちが黄帝から150代目に当たることが判明しました。その話はメディアの注目を集め、2005年に、当時19歳のウィルフォード・吳は、黄帝の墓とされている場所で毎年行われる式典で台湾の若人の代表に選ばれました。

台湾台北西ステーク、景新ワードの会員である吳家族は、家族歴史に一家全員で取り組んできました。吳吉利と奥さんのシャーリーが系図探究の大部分を行い、ウィルフォードと姉のカミラがそれを整理し、3,000人以上の先祖の神殿儀式に携わりました。

一緒に取り組むことで吳家族のきずなをさらに強めることができました。また、吳家族は先祖との特別なつながりも感じるようになったと述べています。

吳姉妹はこうに述べています。「両親のために作業をしたことで、今まで感じたことのない幸福が天から注がれま



した。わたしは先祖と永遠に結ばれたいと強く願っています。先祖が備えることができるよう祈っています。」

### 多くの助け

150の世代を結びつけることは容易なことではありませんでした。先祖を探究する多くの人と同じように、呉家族は助けがあったと言います。

26代前までさかのぼった後、作業が行き詰まってしまうました。

呉姉妹はこう語ります。「愛称しか分かりませんでした。」

旧正月の最後の日、呉姉妹は神殿で奉仕した後、新年を祝う行事に出席する予定でした。しかし、同じ時間帯で奉仕していた友人が神殿の敷地内にある家族歴史センターへ立ち寄りと言ったとき、自分もついて行くべきだと強く感じました。

呉姉妹はそこで、ある本を手に取りました。そこには、自分たち家族がそれまで見つけれなかった先祖と同じ姓の人々に関する情報が掲載されていました。本を開くと、開いたそのページに、探していた先祖に関する情報が記載されていたのです。その情報を入手したことで、呉家族は何世代も前にさかのぼる他の家系に系図をつなげることができました。

呉姉妹はこのように述べています。「それはわたしにとって非常に特別な経験でした。自分の儀式を早く行ってほしいという先祖の気持ちを感じます。」

### 子孫への祝福

神殿の祝福にあずかりたいという願いを抱いていた台湾花蓮地方部吉安支部の江榮豊兄弟と奥さんの春美姉妹は、マラキの約束(マラキ4:6参照)の別の側面を経験しました。それは自分たちの心が先祖に向けられると同時に、両親として自分の子供たちにも心が向きま

した。  
江兄弟姉妹は、3世代にわたる、互いに結び固められた家族の長です。台湾では教会が発展し、このような家族が増えています。

最近、台湾台北神殿会長会第一顧問から解任された江兄弟はこのように述べています。「孫たちが教会に来るのを見るのはわたしたちの喜びです。孫たちが福音の儀式を通してキリストのもとへ来られるようにするのは、わたしたちの大きな務めです。家族のきずなを断ち切ることはできません。」

李家族は、神殿で儀式を受けたことによる影響はまず夫婦に現れると考えています。

李兄弟はこう語ります。「わたしたちは以前から教会の標準に従って生活していましたが、神殿で結び固められた後は、結婚生活がより良いものになりました。結び固めによって夫婦関係が変わりました。死を迎えると、それまでの生涯の中で獲得しようと努めたすべてのものを失います。車、仕事、家、お金などです。しかし、家族まで失う必要はありません。」

李姉妹はこう述べています。「結び固めは、永遠に続くものとそうでないものを見極める助けになります。ですから、家族のために努力し、家族を中心に置くのです。」

そこから結び固めの影響が広がって行きます。

李兄弟はこう述べています。「家族が永遠であることが分かると、伴侶や子供たちをもっと愛するようになります。その結果、家庭がより温かい場所になり、心地よく感じるようになります。そこに御霊が注がれるのです。」

### 最高の祝福

台湾に住むこれらの家族は、家族歴史と神殿の業により、家族がこの世で祝福を受けており、永遠の世における約束された祝福に慰めを見込んでいる、と言います。

奥さんとともに16代にわたる親族のために神殿の業を行った江兄弟はこのように述べています。「神殿で奉仕をするにつれ、生活が少しずつ変化するのを経験しています。福音の中で若返るのを感じています。」

左ページ——  
呉家族は歴史記録(下)を活用して  
黄帝に至る150代にわたる系図を調べ、  
地元のメディアの注目を集めた。



江<sup>チャン</sup>兄弟は、神殿で奉仕すると、生活におけるサタンの影響力が弱まるとも考えています。彼はこのように述べています。「神殿に参入することで心に敬虔<sup>けいけん</sup>さが備わります。世俗的なことを忘れるのです。」

呉<sup>ウ</sup>兄弟も同じ意見です。「神殿で見いだす霊性と幸福を家へ持ち帰ることができれば、家族が世俗的な問題を克服し、神に近づくの助けができます。」

これらの家族には、永遠の目標に到達するうえで不可欠であると信じていることがあります。それは、自分たちが神殿の儀式を受けるとともに、この世で儀式を受けることがなかった人々にもその機会を得てもらうことです。



### 16代以上にわたる先祖のために

神殿の業を行うことは、

江<sup>チャン</sup>家族の先祖に

祝福をもたらしただけでなく、

江<sup>チャン</sup>家族の子孫を

強めることにもなった。

ゴードン・B・ヒンクレー大管長はこのように教えています。「神殿の儀式は教会が提供すべき最高の祝福となっています。」<sup>1</sup>

江<sup>チャン</sup>兄弟はこのように言います。「教会員の究極の目標は、永遠の家族として天の御父のもとへ帰ることです。そのためには、神殿で行われている救いに欠かせない儀式をすべて受けなくてはなりません。」

### 愛の表れ

カミラ<sup>ウ</sup>・呉は伝道中に神にとって一人一人がどれほど大切かを学びました。彼女が教えることができた一人一人に対して救い主の愛が豊かに注がれるのを感じました。

彼女はこう述べています。「帰還して家族歴史の探求を始めると、家族歴史と神殿の業を行うことによって、伝道と同じように、人の救いに関して実に大きな影響を及ぼせるであろうことに気づきました。」

呉<sup>ウ</sup>家族は、神殿からもたらされるすべての祝福を考えるにつけ、神殿は神の子供たちへの天の御父の愛が最もよく表れているものの一つであると感じています。

カミラの弟のウィルフォードもこう述べています。「神殿に参入して分かるのは、神がその子供たちを愛しておられるということです。」■

### 注

1. 「福音の『最高の祝福』をもたらす新しい神殿」『聖徒の道』1998年7月号 96





チェンヤン スーユアン

**陳楊素媛姉妹にとって、家族歴史と神殿の業は切り離せないものである。**

## 神殿の業と家族歴史のつながり

チェンヤン スーユアン

陳楊素媛は1981年に白内障の手術を受けた後に合併症を起こし、失明しました。しかし、視力を失ったことで、福音を見いだす道が開かれ、最終的には神殿と家族歴史の業の大切さを知るに至りました。

最近失明した陳姉妹は、玄関で1杯の水を求めた二人の若い女性が宣教師だとは知りませんでした。二人を家へ招き入れたことで、彼女の人生が大きく変わりました。

陳姉妹はこのように述べています。「ほとんどの人は目が見えないわたしを役立たずだと考えていました。でも、それは神がわたしにお伝えになりたかったことと違います。わたしが失明した後、神はわたしに、すべての人が神の子供であり、主が大きな犠牲を払ってわたしたちを贖ってくださったことを教えるために宣教師を遣わされました。イエスが払ってくださった犠牲によって、わたしは自分の価値を知りました。わたしはかけがえのない存在なのです。」

それ以来、陳姉妹は台湾桃園ステーク、中壢第1ワードで多くの召しを受けて奉仕してきました。1992年からは神殿でも奉仕しています。

しかし、陳姉妹が直面しなければならなかった試練は失明だけではありませんでした。1987年に、大きなうしづができて、ひんしの状態に陥り、ろっ骨を1本除去する手術をしなければなりません。命は取り留めましたが、医療費を支払うために、貯金を使い果たしてしまいました。神がなぜ自分の命を取り上げられなかったのかと思いました。

神は次のようにおこたえになったそうです。「あなたにはまだ行うべきことがたくさん残っています。」

それから間もなくして、彼女は家族歴史をすべきだと感じました。

彼女はこう述べています。「目が見えないのに、どうやって系図を調べられるのだろうかと思いました。でも、系図を調べなくてはならないという気持ちは消えませんでした。」

親しい友人の助けにより、陳姉妹は直系親族を22代前までさかのぼって調べ、女性の先祖の儀式は全部自分で行いました。現在は、傍系の先祖を調べています。その作業をしていて、神殿と家族歴史の業には切っても切り離せないつながりがあることが分かるようになりました。

陳姉妹はこう言います。「わたしたちが神殿で受ける儀式はたくさんあり、それらはどれも大切なものです。でも、わたしたちは家族歴史を行わなくてはなりません。系図を調べなくては、これらの儀式を先祖のために行うことはできないからです。」

七十人のデニス・B・ノイエンシュワンダー長老はこのように述べています。「家族歴史と神殿の業は一つの業です。神殿の儀式用に提出される名前のほとんどは家族歴史の探究によるものであるべきです。また、家族歴史の探究が行われる第一の理由は神殿の儀式であるべきです。」<sup>1</sup>

現在、陳姉妹は新たな病氣と軽い心臓発作の後遺症と闘っています。なぜ自分の命を取り上げられなかったのかと神に尋ねてから20年後も、また同じ質問をしました。そして、同じ答えを受けました。「前にも言ったでしょう。あなたにはまだ行うべき神殿の業が残っています。」

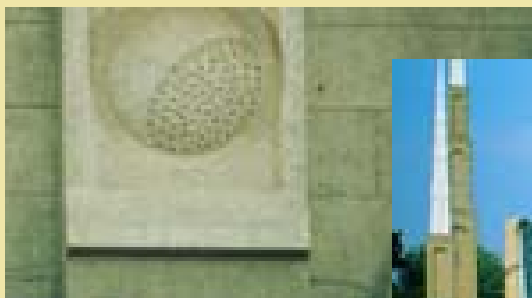
そこで、陳姉妹は今も続けて毎月1週間を神殿で過ごしています。

陳姉妹はこう述べています。「これは、自分ではできない先祖たちのために、わたしたちが身代わりに行わなくてはならないことです。わたしは、ほかの人のように仕事などの時間の制約がありません。今できるときに、一生懸命行う必要があります。」■

注

1. 「永遠の家族のきずなを結ぶ橋」  
「リアホナ」1999年7月号、101 参照





# 神殿に参入

聖なる神殿で  
行われる業の  
基となっている教義は、  
ほかのどんな事柄よりも、  
末日聖徒  
イエス・キリスト教会を  
地上にある  
ほかのあらゆる  
宗教団体から区別し、  
超越させるものです。

十二使徒定員会会長代理  
ボイド・K・バッカー会長

20世紀の初めごろ、二人の宣教師が合衆国南部の山岳地方で伝道していました。ある日、丘陵地帯の尾根に沿って歩いていると、丘陵を少し下った所にある山小屋の近くの、森が切り開かれた場所に人が集まっているのが見えました。

これから葬儀が行われようとしていました。幼い少年が溺死したのです。少年の両親は少年の埋葬式で追悼の言葉を述べてもらうために牧師を呼んでいました。長老たちは後ろの方で葬儀を見守っていました。少年は、小屋のそばに掘ってある墓に埋葬されることになっていました。牧師は、悲しみに暮れる父母と集まった参列者の前に立ち、葬儀の説教を始めました。少年の両親がこの牧師から慰めの言

葉を期待していたとしたら、さぞ失望したことでしょう。

牧師は少年が洗礼を受けていなかったことで少年の両親をとがめました。両親が何らかの理由で洗礼を引き延ばしたため、もはや手遅れとなってしまったというのです。牧師は冷ややかに、少年は地獄へ行ってしまったと両親に告げました。それは両親のせいで、彼らが息子を無窮の苦痛に追いやったのだと言いました。

説教が終わり、墓が土で覆われると、友人や隣人、親戚が帰って行きました。長老たちは悲しみ嘆く両親に近づいて、むせび泣く母親にこのように言いました。「わたしたちは主の僕です。お二人のためのメッセージを携えて来ました。」

悲嘆に暮れる両親が耳を傾けると、二人の若い長老たちの語る言葉によって目が開かれ、彼らは永遠をかいま見ることができました。長老たちは啓示された言葉を読み、悲しみに打

左から—ソルトレーク神殿の写真の一部、ウエルトン・C・アンダーセン南ブリガ、ヨハネスバーク神殿の写真、トレバー・サイモン・フィンランド、ヘルシキ神殿の内部、ジョン・ルーク・五智は禁じられています。カリフォルニア州サクラメント神殿の写真、ジョン・ルーク・写真はイメージです。タビチ、パペーテ神殿の扉面



# してください

ちひしがれ、心をへりくだらせているこの両親に、生者と死者、双方を贖うための鍵が回復されたことについて証を述べました。

わたしはその巡回牧師を非難するつもりはありません。むしろ、彼に対して幾分かの同情の念を抱いています。牧師は自分が受けた光と知識の範囲内で、彼なりに最善を尽くしたからです。しかし、牧師が与えた以上のものが存在します。完全な福音があるのです。

宣教師がこの謙遜な人々に示した道は、改宗や悔い改め、バプテスマ以上のものです。なぜなら、この道に従う人は、やがて聖なる神殿の神聖な部屋へ導かれるからです。資格を得た教会員は、人類に啓示された最も高尚で神聖な贖いの儀式に参加できます。人は神殿で、洗いと油注ぎ、教えとエンダウメントを受け、結び固められます。そして、自分自身のためにこれらの祝福を受けたら、同じ機会に恵まれなかった死者のために儀式を行うことができるのです。

わたしたちがなぜ神殿を建て、神殿で儀式を行うかについて、皆さんに理解を深めていただけるようにお話します。

## 神殿参入の特権

聖なる神殿に参入できることは特権です。もし皆さんが定められた標準に照らしてふさわしいのであれば、自分の祝福を受けるために何としても神殿に参入すべきです。そしてその後、この世で同じ祝福を受ける機会を得ずに亡くなった人々がその祝福を受けられるように、何度も繰り返し神殿に参入してください。

ふさわしく、主が定められた条件を満たすまでは、神殿に参入すべきではありません。もし今参入できないのであれば、できるかぎり早く資格を得て、神殿に参入してください。

聖なる神殿で行われる業の基となっている教義は、ほかの何よりも、末日聖徒イエス・キリスト教会を地上にあるほかのあらゆる宗教団体から区別し、超越させるものです。この教会には、他の宗派にはないものがあります。この教会は他の宗派が与えられないものを与えることができるのです。

悲嘆に暮れていた両親の心痛を癒せるのは、この教会の教義のほかにはありません。これらの教義は聖なる神殿の儀式を中心としています。



## すべてを秩序正しく

儀式の重要性を少し説明するために、まず信仰箇条第3条を読んでみましょう。「わたしたちは、キリストの贖罪しよくざいにより、全人類は福音の律法と儀式に従うことによって救われ得ると信じる。」

「儀式」という言葉は、「宗教的または儀礼的な慣習」「確立された典礼」<sup>1</sup> という意味です。では、福音の儀式についてはどうでしょうか。教会員であるわたしたちにとって、儀式はどれほど重要でしょうか。それらなしに、幸福や贖い、昇栄を得ることができるでしょうか。その答えはこうです。それらは望ましいとか、必要であるという言葉以上のものです。また、重要だとか肝要だとか言う以上に、わたしたち一人一人にとって、不可欠なものです。

末日聖徒は皆、このように自問する必要があります。わたしは秩序正しい生活をしているだろうか。人生のこの時期までに受けておくべき福音の儀式をすべて受けているだろうか。これらの儀式は有効だろうか。

これらの問いに「はい」と答えることができ、それらの儀式が結び固めの力と権能の下で行われているなら、それらは永遠に有効なものとなります。そうであれば、皆さんの生活は現時点までは秩序正しく進んでいると言えます。次に、同じ質問を思い浮かべながら、健在な親族、またはすでに亡くなった親族についても考えるとよいでしょう。

## 神殿の儀式

わたしたちが神殿で行う儀式には、洗い、油注ぎ、エンダウメント、そして結び固めの儀式、すなわち親子の結び固め、そして一般に神殿結婚と呼ばれる夫婦の結び固めの儀式があります。

それでは、神殿の儀式に関して出版されている資料から得られる情報を要約して紹介しましょう。

洗いと油注ぎの儀式は、神殿の中でよくイニシャトリーと呼ばれます。次のことだけお話しすれば、この話の目的は十分達成されるでしょう。洗いと油注ぎはエンダウメントに関連しており、本来はほとんどが象徴的なものですが、将来の祝福だけでなく、今すぐに与えられる明確な祝福を約束するものです。主はこれらの儀式についてこのように述べておられます。「わたしはあなたがたに言う。あなたがたがわたしの名のために建てた家でああなたがたの洗いを行わなくて、どうしてそれがわたしに受け入れられようか。」(教義と聖約124:37)

これらの儀式に関連して、神殿では正式にガーマントを着

せられ、それに関連して得られるすばらしい祝福を約束されます。大切なのは、これらの儀式が執行されるときには、注意深く耳を傾け、約束された祝福と約束が実現するための条件を心に留めるようにすることです。

「エンダウメント(endowment)」の「エンダウ(endow)」とは、豊かにすることであり、永續する、非常に価値のあるものを人に賦与するという意味です。神殿のエンダウメントの儀式では、受ける人は「高い所から力を授けられる」のであり、「主の目的と計画に関する教育を受けるのです」<sup>2</sup>

ブリガム・ヤング大管長(1801-1877年)はエンダウメントについてこのように述べています。「簡単に定義してみましょう。あなたのエンダウメントとは、主の宮においてこれらすべての儀式を受けることです。これらはあなたがこの世を去った後に、番人として立つ天使たちの前を通って、神聖な神権にかかわる鍵の言葉を述べ、しるしと形を示して御父の前に行き、地や地獄の妨げをものともせず永遠の昇栄を手に入れるために必要な儀式です」<sup>3</sup>

エンダウメントの祝福は完全な昇栄を得るために必要です。すべての末日聖徒はこの祝福を受けるためにふさわしくなるように、また実際に祝福を受けるように努力すべきです。

結び固めの儀式は家族を永遠に結び固める儀式です。神殿結婚は結び固めの儀式です。神殿で結び固めを受けた夫婦のもとに生まれた子供は、聖約の中で生まれます。夫婦が市民結婚をして、1年以上たったときに神殿で結び固められる場合には、聖約の中で生まれなかった子供は、神聖かつ

末日聖徒は皆、このように自問する必要があります。わたしは秩序正しい生活をしているだろうか。人生のこの時期までに受けておくべき福音の儀式をすべて受けているだろうか。これらの儀式は有効だろうか。



簡明な儀式を通してその夫婦に結び固められます。

わたしは、神殿の儀式が敬虔な態度で慎重に執行されていることにいつも感銘を受けます。神殿の儀式は複雑なものでも仰々しいものでもなく、そこには、福音の原則の平易な特徴がよく表れています。

教会にあってわたしたちはふさわしい権能を与えられており、それによって、全人類が贖いを受けて昇栄するために必要なすべての儀式を行うことができます。また、結び固めの力の鍵があるので、地上にあって正しい方法で結び固められたものは、天でも結び固められます。地上でも天でも結び固める、この結び固めの力の鍵は、神から授けられた究極の賜物たまものを表しています。その権能があるので、わたしたちはバプテスマ、祝福、エンダウメント、結び固めなどを行うことができ、主はわたしたちとの約束を守ってくださるのです。

#### 儀式は死者のために執り行われなければなりません

冒頭の話に登場した巡回牧師は、バプテスマを受けずに死んだ人々はどうなるのかという問いに答えることができませんでした。彼らはどうなるのでしょうか。もし天下に人を救い得る名がほかに与えられていないとすれば(もちろんほか

には与えられていません)、またその人がその名を聞くこともなく人生を終えたとすれば、そしてもしバプテスマが不可欠なものであるなら(そのとおり、不可欠です)、さらに、バプテスマを受けるように勧められることもなく亡くなってしまったのなら、その人々は今どこにいらっしゃるのでしょうか。

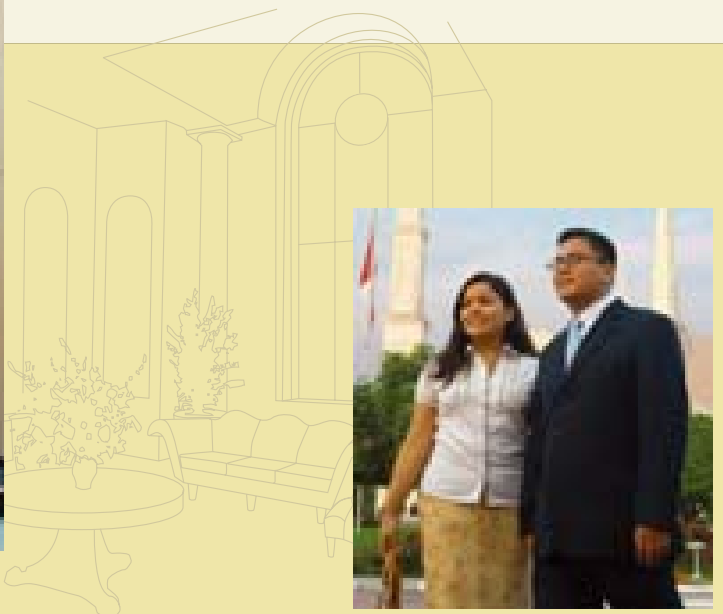
これは実感しにくい質問ですが、人類の大部分のことを言い表しているのです。言い換えれば、主は一つ、バプテスマは一つであると定めておきながら、人類の大部分にその教義の影響が及ばないままにしておくなどあり得るだろうか、ということです。この質問に正しく答えられないのであれば、溺死した幼い少年も含め、人類のほとんど大部分は失われ、正義の律法あむも憐れみの律法も正しく適用されません。

このジレンマを生じる問題に正しく答えられないような教会が、自分たちは主の教会であると主張できるのでしょうか。地上でバプテスマを受けられなかったからといって、主が人類の大部分に当たるそのような人々を忘れられることはありません。

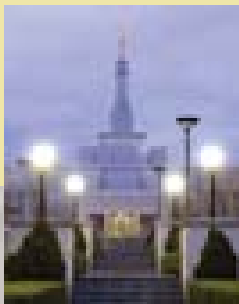
この問いに対する答えがないことを、困惑した不満の気持ちで認める人は、地上で主の業を執行したり、全人類を救うための業を監督したりする権能を求めることはできません。

わたしたちの教会をこの世のほかの教会から区別し、主の教会であると証明する特徴の一つは、亡くなった先祖のためにバプテスマとそのほかの儀式を行っていることです。

バプテスマを受けずに亡くなった人々に関する疑問について



バプテスマを受けずに亡くなった人はどうなるのでしょうか。  
この難問に答えることができない教会は、  
主の教会であると主張できるでしょうか。



て話すときはいつでも、最も深い敬虔の念を抱きながら話します。なぜなら、それは神聖な業に関するからだからです。この世でほとんど知られていないこの業は、驚くべき可能性に満ち、人が想像できるよりはるかに崇高で、人知を超越したもので、靈感にあふれています。そしてそれは真実です。それがこの疑問の答えなのです。

正しい権能があれば、この世に生きている人は亡くなる前にそのような機会を持つことがなかった人のために、身代わりのバプテスマを受けることができます。死者は霊界で自分の意志に従って、バプテスマを受け入れることも拒むこともできます。

この業は、非常に基本的な事柄、すなわち、死後も生命が続くことを確認する大いなるものとしてもたらされました。この世に生まれたことが生命の始まりでないのと同じように、肉体の死も生命の終わりではありません。贖いの偉大な業は、現世だけでなく、次の世にも続くのです。

わたしたちは死者の身代わりとしてバプテスマやその他の儀式を神殿で執り行うことを主から認められています。死者が福音の教えを聞き、受け入れたいと望むときに、不可欠なこれらの儀式がすでに執行されているようにするためです。

### 神殿に参入してください

末日聖徒は皆、この業に対して責任があります。この教義ほど教会が他の宗派と際立って異なっている点はないでしょう。この教会には啓示があります。これらの神聖な儀式があります。

皆さんに申し上げます。「神殿に参入してください。」自分のエンダウメントを受け、自分自身の祝福を授かり、主と聖約を交わすために神殿へ参入するというまたとない特権を楽しむにしている人もいます。すでに1、2回神殿に参入している人も、あるいは頻繁に参入している人もいます。儀式執行者を務めている人もいます。いかなる状況であれ、どうぞ神殿に参入してください。

必要なら、自分の生活を正し、熱心に祈ってください。非常に困難で時には落胆することもあります。悔い改めの道を今すぐ歩み始めてください。神殿の業とそれを支える家族歴史の業を助け、すべての生きている人と幕のあなたに人々を助けるために、あらゆる方法であなたの手もとにあるあらゆるものを駆使して、できる限りのことをしようと固く決意してください。

ぜひ神殿に参入してください。■

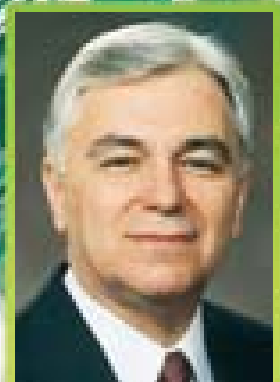
『聖なる神殿』(The Holy Temple [1980年])を基に編集。

### 注

1. *Oxford English Dictionary* (1971年), "ordinance"の項, 2006
2. ブルース・R・マッコンキー, *Mormon Doctrine*, 第2版(1966年), 227
3. *Discourses of Brigham Young*, ジョン・A・ウイツォー選(1941年), 416

あかし

# 預言者についての証



**宣**教師は  
礼拝堂を建てる  
手伝いを  
していました。  
わたしは彼らに  
とても感心し、  
両親に紹介すること  
にしました。

七十人会長会  
クラウディオ・R・M・コスタ長老

**12**歳のとき、わたしは家族に宣教師を  
紹介しました。宣教師とは以前道端  
で出会って、親しくなっていました。  
ブラジルにあるわたしの育った町で伝道してい

た彼らは、礼拝堂を建てる手伝いを  
していて、わたしも一緒に来ないかと  
誘ってくれました。わたしは暇があ  
るときに手伝うことにしましたが、  
時間を惜しまずに教会の建築を手  
伝うこの若い男の人たちは実に珍  
しい存在だと思っていました。

とても感心したわたしは宣教師を両親に紹

絵/ポール・マン





**そ**の夜、わたしは  
ジョセフ・スミス  
の歴史を  
読み始めました。  
そして一つの段落を  
読んではそのについて  
祈りました。

介することにし、家に招きました。宣教師たちは家族に福音についての最初のレッスンをしました。だれもたばこを吸ったことがなかったので、その点でわたしたちはすでに知恵の言葉を守っていましたし、毎晩家で家庭の夕べもしていました。家庭の夕べとは呼んでいませんでしたが、内容は同じようなものでした。しかしわたしたち家族はカトリック教徒として定期的に教会に行っていたので、父は自分の今の宗教で満足していると宣教師に告げました。

宣教師は帰って行きましたが、彼らはアパートに保管されていた区域伝道記録にわたしたちのことを書き込んでくれました。そこには、わたしたちがいつか教会に入るといった印象を受けたことも記録されました。

#### 永遠の家族について学んで

それから10年が過ぎ、わたしは別の町で暮らしていました。そのころ、新しい宣教師が両親の実家がある区域にやって来ました。だれも教える人がいなかった彼らは区域伝道記録

を開きました。そしてそこに載っていたわたしの両親を訪問することにしました。祈りをささげた彼らは主から靈感を受けて出かけて行きました。当時の父は自分の宗教に忠実でしたが、一つの疑問を抱いていました。自分の妻が、死後は自分の妻ではなくなるという教えを信じられなかったのです。父は、家族のつながりは死んだ後も続くべきだと強く思っていました。このことについて様々な教会の聖職者に尋ねてみましたが、どこに行っても答えは同じでした。「いいえ、死んだ後、妻はあなたにとって姉妹のように、息子は兄弟のようになります。」

宣教師が両親の玄関のドアをノックすると、父は顔を出し、話は以前に聞いたこと、そして興味のないことを伝えました。ところが宣教師はこう言いました。「別のメッセージがあります。家族が永遠に一緒にいられることは御存じですか。」この言葉に父は特別な気持ちを感じ、家に入って教えてくれるよう彼らを招き入れました。宣教師は御霊みたまに導かれながら、わたし

の家族に永遠の結婚や永遠の家族について話しました。このような形で福音と出会ったわたしの家族は、後に証を得て、バプテスマと確認の儀式を受ける決意をするまで宣教師と会い続けました。

### わたしが証を得るまで

その5年後、27歳になったわたしは、しばらくの間実家に戻っていました。父はワードの伝道主任を務めていて、わたしたちの家では姉妹宣教師がある人に福音を教えていました。姉妹たちがモルモン書やジョセフ・スミスについて教えるのをドア越しに聞いたわたしは、自分も祈ってみようと決意しました。もしジョセフ・スミスが預言者なら、モルモン書が真実で、教会が真実であるという考えは納得できると思ったからです。

その夜、わたしはジョセフ・スミスの歴史や聖なる森での示現について読み始めました。そしていったん読むのをやめ、主に祈りました。一晩中このように一つの段落を読んではそのについて祈りました。合わせて14時間かかりました。深く考え始めたとき、わたしにある変化が起こりました。ジョセフと一緒に森にいるような気持ちになったのです。とても鮮明で現実的な経験でした。そのとき起こった出来事を実際に見ているかのようにでした。翌朝祈り終えたとき、わたしはジョセフ・スミスが預言者であったことを確かに知っていました。

わたしはすぐに宣教師を探しに行きました。昼になって姉妹宣教師が食事を取ろうと帰って来たとき、わたしは玄関の前で彼女たちを待っていました。そして福音を教えてくださいと頼みました。あつという間に福音についての7つのレッスンを聞き終えた後、わたしはバプテスマと確認の儀式を受けて教会に入りました。



**わ** たしはジョセフ・スミスが  
預言者であったことを  
知っています。

また、わたしが教会に入ったときの  
預言者スペンサー・W・  
キンボール大管長も  
預言者であったことを知っています。

### 預言者に従う

教会に入って約1か月後、わたしは将来の妻となるマガレスと出会い、1年後に結婚しました。交際しているとき、わたしはマガレスに、ジョセフ・スミスが預言者であったことを知っているの、預言者の言葉や教えに基づいて家族を築きたいと伝えていました。例えば、当時の預言者スペンサー・W・キンボール大管長(1895-1985年)は、教会員に借金を避けるようにという勧告を与えましたが、約29年間の結婚生活の中で、妻とわたしは一銭も利息を支払ったことはありません。まったくないのです。

ジョセフ・スミスの証を得て以来、大管長会や十二使徒が語るすべての言葉を注意深く聞き、その教えを実践してきました。ジョセフ・スミスが預言者であったことを知っているの、彼らに従うことが難しいと思ったことは一度もありません。預言者と使徒が求めることは何でもします。彼らが預言者、聖見者、啓示者であることを知っているからです。

皆さんも預言者についての証を得ようと努めるなら、大きな力を得ることができるでしょう。これは幸福になる鍵の一つです。預言者の言葉を聞き、その勧告に従うなら、従順であることによってあなたは幸福になるでしょう。■

# 質疑応答

「ある日、ニューファイ第一書第7章12節を読みました。  
そこにはわたしたちが主を信じる信仰を働かせれば、  
主はわたしたちのために何でもおできになると書かれています。  
どのようにすればキリストを信じる信仰を働かせることができるでしょうか。」

## 『リアホナ』からの提案

**信**仰とは主を信じ、信頼することです。主を信じる信仰を持てば、福音に従う力を得られます。そして従順であることにより、いっそう篤い信仰を持てるようになるのです。信仰は神から授けられる賜物です。

聖文にあるように、主を信じる信仰があれば主はあなたのために何でもおできになります。例えば、あなたを癒し、救し、慰め、改心へと導くことができになります。しかし、信仰を持つとは自分の願いをすべてかなえてもらうよう神に期待することではありません。それは主を信頼することであり、すべての祝福が「〔主の〕御心のままに」(1ニューファイ7:12)、「神自身の時に、神自身の方法で」(教義と聖約88:68)与えられると理解することです。例えば、祈りの答えをすぐに得られないことがあるかもしれません。しかし、信仰があれば天の御父があなたの祈りを聞き、ふさわしいときにこたえてくださるといふ確信を持つことができます。

信仰をはぐくみ、働かせるために、次の事柄を行うとよいでしょう。(1) 神の言葉を学ぶ。聖文を読んだり、それを教える権能を持つ人々(ローマ10:17参照)の話の聞いたりすることで神の言葉を学ぶことができます。御言葉を知

イエス・キリストを信じる信仰を働かせることは、主を信じ、信頼することです。信仰があれば主の御心に添った生活を送る力を得られます。

信仰は神から与えられる賜物です。それはあなたが義になつた生き方をするとき授けられます。

信仰について知るために次の3つの章をぜひ読んでください。  
ヘブル人への手紙第11章、  
エテル書第12章、  
モロナイ書第7章。

れば、神が必ず約束を守ってくださると理解できるようになります。

(2) 学んだことを実践する。あるいは、アルマが語ったように、御言葉を試してみる。御言葉は種のようなものです。種が良いものなら、心を広げ、理解力に光を注ぎ、良い気持ちを与え始めます(アルマ32:28参照)。これは御言葉が真実であるという霊的な確認であり、その結果あなたの信仰は強くなります。

(3) 戒めを守る。義になつた行いをしていると、生活の中で信仰という賜物が育っていきます。イエス・キリストの模範と教えに従うことによって主を信じる信仰を示してください。聖文や生ける預言者の教え、聖霊の促しを通して主があなたに求められることを行ってください。例えば、ゴードン・B・ヒンクレー大管長が勧めた、2005年の末までにモルモン書を読むという招きにあなたはどうこたえたでしょうか。勧めを受け入れた人々は信仰をもって実践し、大管長の約束どおりに祝福を受けました(そのときに読み終わらなかった人は、もちろん今からでも行うことができます)。

多くの人々は主を信じる信仰を持たずに人生を送りますが、主への信仰がなければ永遠の命を受け継ぐことはできません。「永遠の命……〔すなわち〕神の賜物の中で最も大いなる



写真／カルロス・イスラエル・グティエレス・ロドリゲス、写真はイメージです

もの」を得るには(教義と聖約14:7)、イエス・キリストの福音に従う以外に方法はありません。その福音の第一の原則は主を信じる信仰なのです。

## 読者からの提案



主への愛と信仰を示す最良の方法はキリストとその福音への献身だと思います。主の示された原則や標準を守り、主が示された道をしっかりと歩むとき、わたしたちは主に對してだけでなく、人生で出会うほかの

人々にも証あかしをすることになります。つまり主が払われた犠牲、そして福音の回復にも感謝していることを証するのです。

チェコ共和国、モラビア、ヤン・V、17歳



イエス・キリストを信じる信仰を持つということは、主を完全に信頼し、主が生きておられること、そして救い主であられることを思いと心で確信することです。キリストは、日々困難に直面するわたしたちを助ける方法を御存じです。だからこそわたした

ちはキリストに信頼を置かなければなりません。主を信じる信仰が十分でないと、自分の霊的な状態について不安になり、神の約束を疑うようになります。救い主を中心とした生活を送ることは、わたしが福音の中で堅く立ち、恐れを克服し、障害を乗り越える助けになっています。エクアドル、チンボラソ、ナタリア・N、19歳

従順によってキリストへの信仰を働かせましょう。行いのない信仰は死んだものです。なぜ与えられたのか理由が分からなくても戒めに従うなら、わたしたちは主



に対して信頼と信仰を表していることになります。戒めを守ることで、わたしたちが主を信頼して、主の言われることが正しいと信じていることを示します。毎日祈り、聖文を読むことは御父との関係を強め、御父を信じる信仰を増してくれま

す。さらに、祈りはこたえられると信じる必要もあります。信仰が得られるように助けを祈り求めま



しょう。  
主が自分を導いてくださるような生活を送ることによって信仰を働かせることができます。神を信頼すること、神に従うこと、そして戒めを守れるよう熱心に努めることによって主を信じる信仰を働かせることができます。自分の思いを主に従わせるならば、自分と周囲の人々の生活の中で大いなる奇跡が起こるでしょう。

アメリカ合衆国、ミズーリ州、メガン・S、18歳



神を信じる信仰を働かせる方法はたくさんあります。例えば、毎日聖文を読んだり、祈ったりすること、安息日を聖く保つこと、什分の一と断食献金をささげること、人々に奉仕すること、その他の戒めに喜んで従うことなどです。

ウクライナ、ドネーチク、ドミートリ・Z、21歳

主の助けと力を信じる時、主を信頼して前に進むことができます。戒めに従順であることにより、わたしたちは主を信じる信仰があることを示します。主が偉大な祝福をわたしたちに与えることを望んでおられること、それらの祝福を得るためには信仰と従順が不可欠であることをわたしは心から知っています。

イタリア、リグリア、マルコ・C、18歳

福音を知っていて、それが真実であると信じているならば、実際に福音に従った生活を送り、祝福を得られるかどうか試す必要があります。行いのない信仰は死んだものです。行いの伴った信仰があれば、信仰はさらに確固としたものになります。



**「信** 仰を試す度に、つまり何らかの印象に従ってふさわしい行動をする度に、御霊による確認の証を受けるのです。そしてこうした気持ちは信仰を強めてくれます。この経験を繰り返すにつれて、信仰はさらに強くなります。……絶えず信仰を働かせるなら、信仰は皆さんの人生で、活気に満ちた強力な力、精神を高め、靈感を与える力になります。」

十二使徒定員会  
リチャード・G・スコット長老  
「不確かで困難な時代に支えとなる信仰の力」  
『リアホナ』2003年5月号、76

ニーファイ第一書第7章12節は、わたしたちが神に忠実でなければならないと教えています。忠実であることは、信仰をはぐくむ第一歩です。

モンゴル、テフ、オトゴンチメグ・B、15歳

全知全能であられる主に頼り、信頼を寄せることでイエス・キリストを信じる信仰を働かせることができます。一つの良い方法は什分の一です。什分の一をささげることで、約束された、より大きな祝福のために世俗的なものを喜んで犠牲にすることを示すのです。

フィリピン、サンボアンガ・デル・スル

サマンサ・L、15歳

教会に来ること、祈ること、聖文を読むこと、召しを受けること、罪を悔い改めること、聖餐を受けること、そして召しを尊んで大いなるものにするによってキリストを信じる信仰を働かせることができます。

アメリカ合衆国、ジョージア州、アダム・N、18歳

本誌の答えは、問題解決の一助となるように意図されたものであり、教会の教義を公式に宣言するものではありません。

## 質 問

「友人とわたしには、うわさ話をしたり、ほかの人について意地悪なことを言ったりするという問題があります。そのようなことを自分がもうしないように、そして友人もやめられるように助けるにはどうしたらよいでしょうか。」

## あなたの意見を聞かせてください

氏名、生年月日、ワードおよびステーク(または支部および地方部)を明記のうえ、写真を添えて(写真掲載に対するご両親の承諾書とともに)、下記まで郵送か電子メールでお送りください。

あて先——

Liahona, Questions & Answers 11/07

50 E. North Temple St., Rm. 2420

Salt Lake City, UT 84150-3220, USA

電子メールアドレス——

liahona@ldschurch.org

2007年11月15日必着で送付してください。■

# 主の再臨に備えることによって、 神の御手に使われる者となる



以下のメッセージから訪問先の姉妹たちの必要に合った聖句や教えを祈りの気持ちで選び、読んで

ください。自分の経験や証を伝え、あなたが教える人々にも同様に分かち合うように勧めてください。

## イエス・キリストの再臨に備えるにはどうしたらよいでしょうか。

**教義と聖約 38 : 30**——「備えていれば恐れることはない。」

### 十二使徒定員会 **ダリン・**

#### **H・オークス長老**——「末日

聖徒にとって、4つの明白なことがあります。(1)救い主は力と偉大な栄光のうちにこの地上に戻って来られ、正義と平和の満ちる福千年の間、自ら統治される。(2)主の来られるときに、悪人は滅び、義人は復活する。(3)主の来られる時を知る者はいないが、(4)忠実な人々は再臨のしるしを学び、備えるよう教えられる。……再臨のときに起こると預言されている事柄に対して物質的および霊的な備えをする必要があります。」「(再臨への備え)『リアホナ』2004年5月号, 7, 9)

### 前中央扶助協会会長会第一顧問

**キャスリーン・H・ヒューズ**——「『あなたがたは一つの大きいなる業の基を

据えつつあるからである。そして、小さなことから大いなることが生じるのである。』(教義と聖約 64 : [33], 強調付加)

……わたしたちが求める大いなる業は、『小さなこと』から生じるのです。わたしが学んだことですが、その小さなことの一つは、毎日霊性を高める時間を見つけないとではないということです。」「(小さなことから)『リアホナ』2004年11月号, 109)

### 十二使徒定員会 **ロバート・D・ヘイルズ長老**——

#### 「主は前の時代の人々のように、わたしたちにも忠実

で献身的で勇敢であるよう求めておられます。彼らは

福音のために命をささげるよう召されました。わたしたちは同じ目的のために生きるように召されています。……あらゆる神権時代……は、主の降誕と贖罪への道を備えました。同様に、歴史や預言は預言者ジョセフ・スミスによる福音の回復の基礎を築きました。今日の出来事や預言が、主の再臨に自らを備えさせるものであるという認



識がわたしたちにはあるでしょうか。」「(回復と再臨の備え——『わたしの手はあなたのうえにある』『リアホナ』2005年11月号, 91)

ほかの人々が備えられるようにするために、どのような方法で神の御手に使われる者となれるでしょうか。

**教義と聖約 34 : 6**——「あなたは……声を上げ、……悔い改めを叫んで、主の再臨のために道を備え[なさい]。』

### スペンサー・W・キンボール大管長

#### (1895 - 1985年)——「救い主の

再臨に先立つこの最後の時代に、義にならなかった女性となることは、きわめて崇高な召しであると言えます。義にならなかった女性の力とその影響力は今日、平静な時代と比べてはるかに大きな効果を及ぼします。そのような女性がこの地上に送られたのは、家庭を守り、豊かなものとするのを助けるためです。そしてこの家庭こそ、社会を作る最も尊い組織なのです。社会におけるその他の組織は動揺したり、崩壊したりすることがあります。しかし、家庭は義にならなかった女性によって守られるに違いありません。そして家庭は嵐と闘争のただ中であっても唯一の聖所となることでしょう。」「(女性の特権と責任)『聖徒の道』1979年2月号, 149) ■



# 読み書きの能力で より良い人生を 送る

読み書きを学ぶことで  
人生がどのように変わるか、  
二人の末日聖徒に聞きました。

**世** 世界各地には、基本的な読み書きの技  
術を学ぶことで自分やほかの人の生活  
をより良いものに行っている人がいます。

HOLY  
BIBLE

KING JAMES  
VERSION

EL  
LIBRO DE  
MORMÓN

DOCTRINA  
Y  
CONVENIOS

LA  
PERLA DE  
GRAN  
PRECIO





## 学ぶことを愛する

メキシコで生まれたシャーリー・フロレンス・サインツは、母親が苦勞の末に身に付けた読み書きの技術のおかげで、ほかの人たちがどのように祝福を受けたかについて語っています。

「母のアニタ・バレンスエラ・メンドーサが2歳のとき、祖父が鉱山事故で亡くなりました。8人の子供を抱えた祖母は、家族を養うためのお金もほとんど持ち合わせていませんでした。祖母はまた、読み書きができず、数字も理解できませんでした。

6歳になると、母は幸いにも学校に通えることになりました。鉛筆やノート、本は持っていませんでしたが、学ぶことが大好きだった母は、紙を手に入れるためナプキンに刺しゅうをしたり、教室の掃き掃除をしたり、薪を運び入れる仕事をしたりしました。家では祖母が新聞の印刷に使う、安くて質の悪い、それでもわたしたちにとっては貴重な紙を束ねてとじ、母のためにノートを作ってくれました。

教師たちは母の熱意を高く評価してくれました。擦り切れた服や乱れた髪の毛など気にも留めず、知識に飢えていた母にいろいろなこと

を教えてくれたのです。小学校を卒業するとき、一人の教師の家族が母に進学の機会を与えたいと言ってくれました。しかし母は勉強を続けることができず、正式な教育はここで終止符が打たれることになります。

その後、母は27歳のときに父と出会いました。そして父から福音を紹介されたことで教育を受けることへの情熱が開花します。母は聖文を読むことを通して学ぶことが大好きになりました。また扶助協会の様々な機会を通して知識を増していきました。

母はわたしの心にも学ぶことを愛する気持ちを植え付けてくれました。わたしは大学を卒業して小学校の教師をしています。わたしと母の2世代にわたって、わたしたち家族は多大な祝福を受けてきましたが、これは母が子供のころに読み書きを学んだおかげです。母の読み書きの技術は、彼女がイエス・キリストの福音を理解し、喜んで受け入れるための扉を開いてくれました。その結果、母のすべての子供や孫たちが祝福を受けているのです。」

## 聖文読み書きクラス

サインツ姉妹の話は珍しいものではありません。読み書きの能力を身に付けると、人は福音に対する理解を深め、ほかの人の生活に祝福をもたらすことができます。教会に入ったナイジェリアのポール・イミエテへも、基本的な読み書きの技術を学ぶことにより、福音をよりよく理解し、分かち合うことができるようになりました。ポールはこのように回想しています。

「わたしはナイジェリアのワリで末日聖徒イエス・キリスト教会に加わりました。教会の会員になってから、読み書きを学ぶ必要を強く感じるようになりました。神権指導者から話や祈りの割り当てを与えられると、わたしは教会に行きませんでした。読み書きができないことがとても恥ずかしかったのです。

アブジャに引っ越し、教会の本や機関誌があるのを見ると、どうしても読み書きの技術が必要だと思いました。ほかの会員が読み、満足を得ているこれらの刊行物をぜひ読みたい



大学の学位を持つ  
シャーリー・  
サインツは  
次のように語ります。

「祖母のカルメン・  
メンドーサは読み書きが  
できませんでした。

わたしと母の  
2世代にわたって、  
わたしたち家族は  
多大な祝福を

受けてきましたが、  
これは母が  
子供のころに  
読み書きを  
学んだおかげです。」

上——(後列)  
シャーリーの母親、アニタ。  
おじのアンセルモ。  
(前列)シャーリーの祖母  
カルメン・メンドーサ、  
アンセルモの妻  
デルフィーナと  
二人の子供。

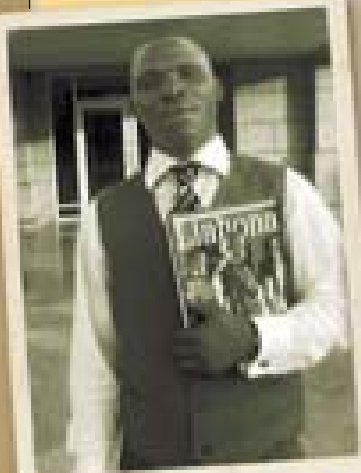


## 手伝えることができます

「わたしは世界の人々がどれほど読み書きの技術を身に付けているかについて少し調べてみました。地上にいる(60)億の人々のうち、10億人は読むことも書くこともできません。……何と言う悲劇でしょう。何と衝撃的で不幸で、悲しい事実でしょう。読み、理解し、書くことができないのは大きな悲劇です。わたしたちはこの悲劇を終わらせる力となることができます。この受け入れ難い状況を変えることができますのです。」

ゴードン・B・ヒンクレー大管長、  
*Teachings of Gordon B. Hinckley (1997  
年), 314*





# ナ

イジェリアの彫刻家、ポール・

イミエテへはこう述べています。「聖文の読み書きを学んだことで、正式な教育をもっと受けたいと思うようになりました。また、福音をよりよく理解できるようになり、人に奉仕する能力も増しました。」

と思いました。アブジャのほとんどの教会員が喜んで発言し、福音についての証を述べているのを見て、わたしも福音が真実であることについて自分が持つ強い思いを上手に表現したくなりました。そのとき、読み書きを学ばなければならないと確信したのです。

ある日曜日、わたしは日曜学校の聖文読み書きクラスに出席することにしました。初めてクラスに行った日、生徒のほとんどが姉妹や若い少年であることに気づきました。そのクラスではわたしが唯一の成人男性でした。出て行きたいという誘惑に駆られました。学びたいという強い願望があったので思いとどまることができました。教師はわたしたちにレッスンへの参加を促し、クラスの資料と聖文を読むように割り当てを与えました。

わたしは文章を読む技術を身に付けるために精いっぱい努力しました。聖文や教会機関誌を読みました。イドゥ支部の日曜学校会長会の第二顧問に召されると、わたしの理解力は増しました。召されたとき、自分に責任を果たすだけの能力があるか疑問でした。しかし任命されたとき、支部会長はわたしが召しを尊んで大いなるものとする能力を持つという祝福を述べてくれました。任命を受けている間、自信が芽生えるのを感じました。

2週間後、わたしは成人の日曜学校クラスを教える割り当てを受けました。力量に不安があったものの、1週間ずっと、仕事から帰宅した後や仕事の休憩時間に準備をしました。日曜日になり、教える時間が来ると、わたしは心の中で短く祈り、導いてくださるよう天の御父にお願いしました。話し始めようと口を開くと、驚くことに言葉があふれ出て来ました。言葉に詰まってしまうかと思いましたが、そうはなりませんでした。

クラスの生徒のほとんどがわたしよりも高い教育を受けていましたが、彼らの反応や表情に励まされる思いがしました。最後まで落ち着いて授業をすることができました。

聖文の読み書きを学んだことで、正式な教

育をもっと受けたいと思うようになりました。また、福音をよりよく理解できるようになり、人に奉仕する能力も増しました。

わたしの職業は彫刻家で、木工技術を生かして建設会社で働いています。ナイジェリアにはこのようなことわざがあります。『木を割るために使う斧おのはとても大切なので、それを両手で持ち、肩に当てて置く。』斧はとても大切なので、地面に置くなどとてもできないという意味です。教会や福音の読み書きについても同じように感じます。かけがえのないものだと思っています。

学ぶように励ましてくれた支部の指導者に感謝しています。特に、聖文読み書きクラスの教師だったローレンス・モンエイ兄弟に感謝しています。」

イミエテへ兄弟は聖文読み書きクラスで読み書きを学びました。そのおかげで自信が増し、福音に対する証を強めました。以来、イミエテへ兄弟は支部に集う多くの会員の生活に祝福をもたらしています。

## 手伝っていただけますか

聖文読み書きクラスの生徒用資料『わたしの言葉を手に入れるであろう』*Ye Shall Have My Words* (カタログ番号34476)は英語、フランス語、ポルトガル語、スペイン語で発行されています。この資料を最も役立ててもらいた人々はその言葉を読むことができません。彼らのお手伝いをしていただけますか。■



上—写真/フランス・オニエフエセ・ヌメリベ

# 始まり まで堪え忍ぶ

7年かかりました。  
でも、待ったかいがありました。

マリア・カネバ

「先生はだれなの？」2000年2月のある土曜日の朝、わたしは街を歩きながら友人にそう尋ねました。当時わたしたちは14歳でした。

友人はこう答えました。「先生はわたしの友達で、布教活動のようなことでここに来ているの。」わたしたちは親友でしたが、今までに宗教を話題にしたことはありませんでした。友人は、これからその友達が無料で教えている英語クラスに行くのだとわたしに告げました。わたしは英語関係の高校に行く予定だったため、友人はわたしが関心を抱くことを分かっていました。

建物の中に入ると、壁にかけられている絵が目にとまりました。ここはほんとうに教会なのだろうかと思惑に思いました。それまでわたしが唯一足を踏み入れたことのあるブルガリア正教会とはまるで違っていました。ほとんどの人は、正教会以外の教会を異端と見なしていました。また、1989年に共産主義体制が崩壊するまで、ブルガリアでは宗教を持つことが非難されていたため、多くの人は今でも宗教を良くないものと考えていました。

友人はわたしに、翌日教会に来たいか尋ねました。わたしは信仰心よりも好奇心から、来たいと答えました。もし友人が教会に行くのなら、きっと悪い

ものではないことが分かっていました。

わたしは定期的に教会に集い始めました。そして教会の教えについてもっと知りたいと思いました。名札を付けた若い人たちがブルガリアに来るために母国を離れ、宗教への反感が強いこの国にいるのはなぜかを知りたいと思いました。当時のわたしにあまり宗教心はありませんでしたが、何かに





バプテスマの日  
(上)まで長い  
旅路でしたが、  
聖文や、「生けるキリスト」  
(次ページ)の暗記など  
「成長するわたし」の  
プロジェクト、  
そして故郷スリブンの  
支部会員(次ページ)  
を通して、  
わたしは強められました。

促されるように、教会の活動に参加し続けました。宣教師の親しみのこもった態度や会員の温かい笑顔が大好きでした。

わたしは支部の若い女性と親しくなりました。彼女たちの信仰や人に奉仕したいという強い望みに驚かされました。若い女性のクラスで初めて祈りをささげたときのことを覚えています。一度も祈ったことがなかったので、祈りがどれほど力強いものか知りませんでした。祈りによって感じられる、天の御父との強いつながりを味わったこともありませんでした。自分が天の御父の娘であることも知りませんでした。そのとき以降、決して祈ることをやめませんでした。何かつらいことを乗り越えなければならぬときはいつも天の御父に導きを求めることができることを知っていました。祈るとよく涙が込み上げてきました。神がわたしを愛してくださっていると御霊がはっきり告げるのが分かるからです。このようにして、わたしは主を信頼し始めました。

10代特有の誘惑に遭ったとき、わたしはすでにイエス・キリストを信じる確かな信仰を持っており、その信仰のおかげでそれらの誘惑に打ち勝つ力が得られました。サタンがこの世のものを使って、同年代の人たちをどのように誘惑しているか、また、小さな妥協がどのようにしてさらに大きな妥協につながっていくかをよく認識していました。自分の信じる原則を守り続けるのは難しいことでしたが、祈りによって天の御父と交わることで誘惑から遠ざかることができました。わたしは救いの計画の原則に従って生活することを決意していました。いつの日か自分が祝福を受けるということを一瞬の疑いもなく信じていました。

残念ながら、わたしはそのとき教会に入ることができませんでした。両親、特に父親が大反対したからです。でも、父の気持ちはよく分かりました。父は自分の親に教会に連れて行ってもらったことはなく、ブルガリアが共産主義の国だった時代に育ったからです。それでもわたしは、いつか教会に入れるように主が道を備えておられると確信していました。その道が険しいものであることはすでに承知していました。しかし、わたしは苦難がわたしたちの益となり得ることを聖文から学んでいたのです。

わたしはセミナリーに通い、その後インスティテュートに通いました。教会の活動に出席し、「成長するわたし」プログラムを始めました。若い女性の活動が楽しみで仕方ありませんでした。皆の間にあるすばらしい友情はもちろん、料理、はがきやしおり作り、教室の飾り付け、ゲームなどをして過ごした時間を決して忘れないでしょう。一つ一つの活動は、神から受け継いだ特質や人生における自分の役割を理解する助けになりました。



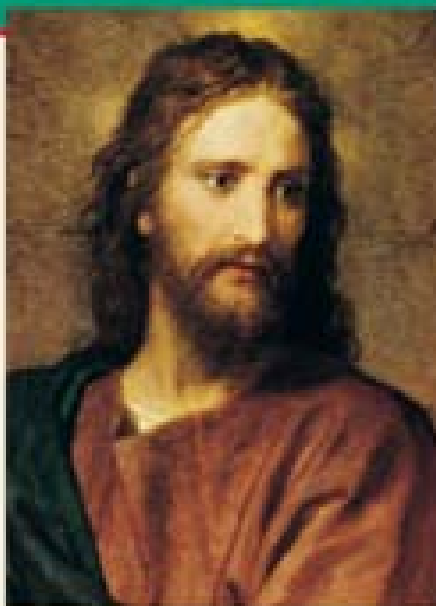


「成長するわたし」のプロジェクトで最も難しかったものの一つは「生けるキリスト」<sup>1</sup>を暗記することでした。この証の文章に目を通したとき、これを暗記するのはとてもやりがいがあることだと思いました。数週間たつころには、このプロジェクトがなぜ「徳質のプロジェクト——信仰」の項目に含まれているかが分かるようになっていました。それは、信仰と忍耐の試練<sup>あかし</sup>すなわち価値のある試練でした。使徒の証は、わたしの信仰と証を強める助けになりました。

キリストの神聖な生涯と務めに関する使徒の靈感あふれる言葉を覚えることで、自分も主について証する勇気を得ました。

16歳のとき、専任宣教師になるというテーマで、ある活動をしました。二人一組になって、1週間宣教師のような生活をしました。このとき、自分の証を人に伝えることの大切さを初めて知りました。この活動を通して、主に仕えることの難しさだけでなく、福音を伝え、キリストの教えが人の人生を変えるときに感じる喜びも知ることができました。そして、「いつでも、どのようなことについても、どのような所においても、……神の証人になる」ことがどういうことかを理解できるようになりました(モーサヤ18:9)。

皆から「会員でない活発な姉妹」と呼ばれていたわたしは、



## ЖИВИЯТ ХРИСТОС

СНИВЕНЕЦЪТО НА АДВОКАТИТЕ  
ЦЪРКВАТА НА ИСУС ХРИСТОС НА СВЕТИТЕ ОФИЦИИ

Делото облекчаване на Иисус Христос преди неговото съзнание, че е живял и умира за всички. Това е единственото дело, което е било обявено за негово дело.

Той беше известен в целия свят. Той беше известен в целия свят. Той беше известен в целия свят. Той беше известен в целия свят.

Той беше известен в целия свят. Той беше известен в целия свят. Той беше известен в целия свят. Той беше известен в целия свят.

Той беше известен в целия свят. Той беше известен в целия свят. Той беше известен в целия свят. Той беше известен в целия свят.

Той беше известен в целия свят. Той беше известен в целия свят. Той беше известен в целия свят. Той беше известен в целия свят.

Той беше известен в целия свят. Той беше известен в целия свят. Той беше известен в целия свят. Той беше известен в целия свят.

Той беше известен в целия свят. Той беше известен в целия свят. Той беше известен в целия свят. Той беше известен в целия свят.

Той беше известен в целия свят. Той беше известен в целия свят. Той беше известен в целия свят. Той беше известен в целия свят.

Той беше известен в целия свят. Той беше известен в целия свят. Той беше известен в целия свят. Той беше известен в целия свят.

Той беше известен в целия свят. Той беше известен в целия свят. Той беше известен в целия свят. Той беше известен в целия свят.

Той беше известен в целия свят. Той беше известен в целия свят. Той беше известен в целия свят. Той беше известен в целия свят.

Той беше известен в целия свят. Той беше известен в целия свят. Той беше известен в целия свят. Той беше известен в целия свят.

Той беше известен в целия свят. Той беше известен в целия свят. Той беше известен в целия свят. Той беше известен в целия свят.

Той беше известен в целия свят. Той беше известен в целия свят. Той беше известен в целия свят. Той беше известен в целия свят.

Той беше известен в целия свят. Той беше известен в целия свят. Той беше известен в целия свят. Той беше известен в целия свят.

Той беше известен в целия свят. Той беше известен в целия свят. Той беше известен в целия свят. Той беше известен в целия свят.

Той беше известен в целия свят. Той беше известен в целия свят. Той беше известен в целия свят. Той беше известен в целия свят.

Той беше известен в целия свят. Той беше известен в целия свят. Той беше известен в целия свят. Той беше известен в целия свят.

Той беше известен в целия свят. Той беше известен в целия свят. Той беше известен в целия свят. Той беше известен в целия свят.

Той беше известен в целия свят. Той беше известен в целия свят. Той беше известен в целия свят. Той беше известен в целия свят.

Той беше известен в целия свят. Той беше известен в целия свят. Той беше известен в целия свят. Той беше известен в целия свят.

Той беше известен в целия свят. Той беше известен в целия свят. Той беше известен в целия свят. Той беше известен в целия свят.

Той беше известен в целия свят. Той беше известен в целия свят. Той беше известен в целия свят. Той беше известен в целия свят.

Той беше известен в целия свят. Той беше известен в целия свят. Той беше известен в целия свят. Той беше известен в целия свят.

Той беше известен в целия свят. Той беше известен в целия свят. Той беше известен в целия свят. Той беше известен в целия свят.

Той беше известен в целия свят. Той беше известен в целия свят. Той беше известен в целия свят. Той беше известен в целия свят.

Той беше известен в целия свят. Той беше известен в целия свят. Той беше известен в целия свят. Той беше известен в целия свят.

Той беше известен в целия свят. Той беше известен в целия свят. Той беше известен в целия свят. Той беше известен в целия свят.

Той беше известен в целия свят. Той беше известен в целия свят. Той беше известен в целия свят. Той беше известен в целия свят.

Той беше известен в целия свят. Той беше известен в целия свят. Той беше известен в целия свят. Той беше известен в целия свят.

Той беше известен в целия свят. Той беше известен в целия свят. Той беше известен в целия свят. Той беше известен в целия свят.

Той беше известен в целия свят. Той беше известен в целия свят. Той беше известен в целия свят. Той беше известен в целия свят.

Той беше известен в целия свят. Той беше известен в целия свят. Той беше известен в целия свят. Той беше известен в целия свят.

Той беше известен в целия свят. Той беше известен в целия свят. Той беше известен в целия свят. Той беше известен в целия свят.

Той беше известен в целия свят. Той беше известен в целия свят. Той беше известен в целия свят. Той беше известен в целия свят.

Той беше известен в целия свят. Той беше известен в целия свят. Той беше известен в целия свят. Той беше известен в целия свят.

Той беше известен в целия свят. Той беше известен в целия свят. Той беше известен в целия свят. Той беше известен в целия свят.

Той беше известен в целия свят. Той беше известен в целия свят. Той беше известен в целия свят. Той беше известен в целия свят.

いつか教会員になれるという忍耐と希望を持つようになりました。わたしの信仰と忍耐が試されていることは分かっていましたが、バプテスマにより清められて新しい生活を始めるまでにはどれくらいかかるのだろうとも思っていました。

その日は、友人が教会に連れて行ってくれた2000年2月のあの寒い朝から7年近く後に訪れました。首都ソフィアの伝道本部でバプテスマを受けたのです。21歳になっていました。バプテスマの日は人生で最もうれしかった日の一つです。バプテスマを受けた瞬間、天の御父がわたしに抱いておられる偉大な愛、<sup>あがな</sup>贖いをもたらす愛を実感しました。翌日、<sup>せいさん</sup>聖餐を受けたときにその愛をさらに強く感じました。涙をこらえることができませんでした。心の中で燃える御霊が、待つかが

あったことを告げてくれました。わたしはようやく、聖霊の賜物や教会員が受けるほかの祝福を味わえるようになったのです。

わたしは回復された福音の知識に恵まれていることに感謝しています。信仰と忍耐によって人生の苦難を乗り越えられることを知っています。地上で唯一まことの教会の会員であること以上に報いの多い、偉大な特権はありません。教会のふさわしい会員として神と再び住めるという知識は、無上の喜びをもたらしてくれます。■

### 注

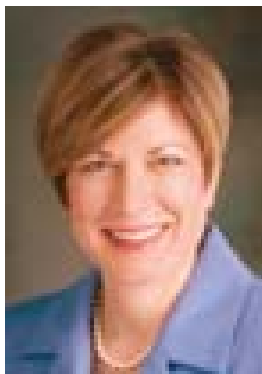
1. 「生けるキリスト——使徒たちの証」『リアホナ』2000年4月号、2参照





# 皆の強さのために

## 中央若い女性会長会へのインタビューから



中央若い女性会長会のスーザン・W・タナー会長(中央)と第一顧問のジュリー・B・ベック姉妹(左), 第二顧問のイレイン・S・ダルトン姉妹(右)は, 青少年が福音の標準を守って生活したいとさらに望み, 決意するために親や指導者にどのようなことができるかについて話し合いました。この話し合いの後にベック姉妹は中央扶助協会会長に召され, 新たにメアリー・N・クック姉妹が中央若い女性会長会に召されました。

**青少年と標準について話すとき, 親や指導者は何に焦点を当てるべきでしょうか。**

**スーザン・W・タナー姉妹**——わたしたちは会長会として、「難しくてもわたしにはできます」というモットーを掲げています。わたしたちを担当する神権指導者のジョン・B・デイクソン長老は, 次のように修正することを提案してくれました。「自分が何者であるかが分かったとき, わたしは主から求められることを何でもできます。」自分が神の子供であることを理解するなら, 青少年は必

ず標準を守るとわたしたちは強く感じています。自分が何者であるかを自覚することで, 自信が持てるからです。

**イレイン・S・ダルトン姉妹**——標準について話すことは, 規則について話すということではありません。標準とは, 聖霊を伴<sup>ほんりよ</sup>とするふさわしさを保つためにあります。つまり, 神会の第三の位にある御方を伴侶とするふさわしさを保つために, 聖なる場所に立つことなのです。聖霊は, バプテスマと確認の儀式のときにたどり始めた道, すなわち神殿へ続く道を進んで行ける

よう導いてくださいます。

**ジュリー・B・ベック姉妹**——ある記者から, 教会の標準は制限が多すぎると非難されたときのことを思い出します。その女性は『若人の強さのために』を読んで, 規則だらけだと感じたのです。そこでわたしは, 安全と選択について彼女に話し、「解放する」「自由になる」「守る」などの言葉を使って説明しました。例えば, もしある若い女性がアルコールを飲まない, 麻薬を使わないという標準を守っていれば, そのような習慣に縛られることはありません。自由は保たれ, 依存症の問題がないので選択の能力が倍増するはずだと説明したのです。すると, その記者はうなずき始めました。標準というものは, 塀のようにわたしたちを囲って閉じ込めるものではないと理解したからです。標準はわたしたちが出て行って, 選択に満ちた世界で能力を最大限に生かして生活していくうえで助けになるものです。守られているからこそ, わたしたちは社会に貢献し, 幸せで実りある人生を送ることができるのです。

**親や指導者が青少年の心に標準を刻み込むにはどうしたらよいでしょうか。**

**タナー姉妹**——青少年が直面する問題を見るときに, わたしたちは長い目で見ず, すぐ目の前のことしか考えな



中央信託局の調査報告書「若人の強さのために」

いことがあります。与えられている約束を探しながら『若人の強さのために』を読むと興味深いと思います。同じように約束を探しながら聖文を読むのも興味深いです。何かをするよう勧告されると、通常はそれに約束が伴います。標準に従って生きてきた親や指導者はすばらしい模範です。青少年はそのような親や指導者の人生に良い出来事があったことや、永遠の家族を築いてこられたという事実を目の当たりにすることができます。わたしたちの人生で成就してきた約束です。

**ダルトン姉妹**——今まで出会った人の中で『若人の強さのために』に約束されている次のような祝福を望まない人は一人もいませんでした。「人生の務めに知恵をもって巧みに対処することができ」、「これまで以上の勇気を

得て試練に耐える力が与えられる」、「聖霊の助けが得られる」、「自分自身に対して良い思いを抱き、人々の生活にも良い影響を与えるようになる」、そして「神殿に参入して聖なる儀式を受けるふさわしさ[が]身に付くでしょう。」(2ページ)

**ベック姉妹**——祝福を受けることを後ろめたく思わなければ、祝福の源となる標準についても弁解がましく思うことはないでしょう。

**ダルトン姉妹**——親自身が標準をささいなことと見なしている場合があります。「そんなあまり価値のない戦いをするのはごめんだ」と思うのです。しかし、大切なのは勝ち負けではなく、<sup>きよ</sup>聖さです。標準を守ることにより、神の息子または娘としての自分の存在をはっきりと自覚できるようになります。

**青少年の気を悪くしたり、関係を損ねたりするかもしれないという不安を、親や指導者が克服するにはどうすればよいでしょうか。**

**ベック姉妹**——幾つか聖句を思い出します。「彼らを恐れてはならない、わたしがあなたと共にい[る]からである。」(エレミヤ1:8)「あなたの口を開きなさい。そうすれば、それは満たされるであろう。」(モーセ6:32)主は、御自身の遣わされる指導者が真実を語ることを期待しておられます。そして親は皆指導者です。

**タナー姉妹**——教義と聖約第121章には、「厳しく責めなさい」、けれどもその後「その人にいっその愛を示しなさい」(43節)とあります。まず若人が「この人は自分を愛してくれている」と分かれば、もっと進んで耳を傾ける

ようになります。そして皆さんが後でしっかり愛を示せば、厳しいことも言えるようになるはずです。

**ベック姉妹**——わたしたち大人は青少年の可能性を十分に理解していないと思います。青少年は探究心の強い年代、つまり「なぜ」と質問したい年ごろなのです。これには理由があります。主が彼らに自分自身の証<sup>あかし</sup>を得てほしいと望んでおられるからです。指導者や親の役割は青少年に教義的な理由を説明し、標準が定められている理由を教えて標準が守られるよう支援することです。昔、日曜日の服装について娘と何度か話し合ったことを思い出します。わたしは聖餐会に出席するときに娘にどのような服装をしてほしいと感じているか説明しました。聖餐についても教え、教会に行く理由も証し

しました。愛をもってそのようにしました。娘はその週も次の週も服装を変えませんでした。しかし程なく、以前よりもきちんとした標準の服装で聖餐会に行くようになりました。わたしは娘が自分で確信を得るまで辛抱強く待ちました。それ以来、娘が前のような服装に戻ることはありませんでした。教義を教わったことで、彼女の「なぜ」という質問が答えられたからです。

**『若人の強さのために』は、親や指導者が「なぜ」という質問に答える際にどのように役立てることができるでしょうか。**

**タナー姉妹**——わたしは『若人の強さのために』が大好きです。教義に基づいているからです。教義とは、創世の前から定められた永遠の真理です。標準は教義に基づいているので、標準も変わることがありません。標準は青

少年の現実を把握していない大人が生活を窮屈にするために考案したものではありません。『若人の強さのために』は、ほかのどんな資料よりも教義と標準を明確に説明していると言えるでしょう。また、そこには、標準を守ったとき、守らなかったときの結果についても教えられています。つまり、これを読めば、永遠の真理が何であるか、何を行うべきで何を避けるべきか、そしてなぜそれをしたり、避けたりするべきかが分かります。親にとって強力な助けになります。わたしは「分かりやすい言葉できちんと説明したい」と思うときにこの冊子を開くようにしています。すると必要としていた概念が一文に要約されて載っています。

**親や指導者は、ほかにどのような方法で『若人の強さのために』を活用できるでしょうか。**

**ベック姉妹**——家庭の夕べで標準を一つずつ採り上げて話し合うことができます。それぞれの標準の基になっている教義、標準の内容、それを守ったときの結果に印を付けてみましょう。教会の教師の場合は、どのようなレッスンでも活用できるでしょう。わたしの場合、ほんとうに強調したい重要な文を暗記して役立てています。そうすると、青少年と話しているときにその暗記した文が自然に浮かんでくるのです。

**ダルトン姉妹**——例えば、重要な文の一つにこういうのがあります。「サタンはあなたが悔い改めはできないと考えるように望んでいます、……」

**ダルトン姉妹とベック姉妹、同時に**——「……それは絶対に真実ではありません。」(30ページ)

**タナー姉妹**——青少年が互いにとって最良の教師になることがよくあります。青少年に話す機会があるとき、わたしたちはあることをよくします。数人に『若人の強さのために』の冊子を渡してこう言うのです。「この中から標準の一つを選んで、少ししたらそれについ



## 青少年が強さを見いだせるように助ける

『若人の強さのために』(36550 330)の教えを生活の一部として取り入れ始め、青少年が心に刻み込むようにする一つの方法は、項目ごとに、教義、標準の内容、それがもたらす結果を確認することです。例えば、「性的な清さ」の項について考えてみましょう。

「なぜこの標準を守らなければならないのですか」という質問には次のような教義が答えを与えてくれます。「夫婦間の身体的な親密さは美しく神聖なものです。それは子供をもうけるため、夫婦の間で愛情を表現するために、神によって定められました。性的な親密さは結婚中でのみ用いるよう、神は命じられました。」(26ページ)

標準はわたしたちのすべきこととすべきでないことを教えています。「結婚する前にどのような性的な関係も結んではなりません。結婚した後は伴侶に対して完全に誠実であってください。」(26ページ)

結果というのは、標準を守ることによって生じる良い結果と悪い結果のことを言います。「性的な清さを保つという神の戒めに従うとき、あなたは神殿で神と聖約を交わし、それを守る備えをしているのです。また結婚を強いきずなで結ばれたものとし、愛に満ちた家族の一員として子供たちをこの世に招く準備をしているのです。結婚というきずなの外でほかの人と身体的な親密さを持てば必ず感情のうででダメージが伴いますが、あなたはそれから守られます。」(26ページ)

て短く話してください。」そのような伸び伸びとした雰囲気の話し合いによって部屋中が御霊に満たされた経験が何度もあります。青少年が自分の経験を人に話したり、証を述べたりするとき、彼らは御霊を感じ、この冊子に秘められた力に気づき始めるのです。

**ベック姉妹**——年に1度標準の夕べを開くだけでは不十分です。『若人の強さのために』はキャンプでも、ユースカンファレンスでも、改まった場でも気楽な雰囲気の中でも活用できます。いつも青少年の前に掲げるべき資料です。親や教師もこれに添って生活しなければなりません。青少年にどんな映画を避けるべきか教える一方で、指導者がそのような映画を見に行くようであってはなりません。「そんな慎みのない服を着てはいけない」と言いながら、母親自身がそのような服を着るようであってはなりません。また、「什分の一を納めなさい」と言っておきながら自分は納めない父親であってはいけません。

**それでは、「若人の強さのために」は青少年以外にも役立つでしょうか。**

**ダルトン姉妹**——わたしはこの冊子を『皆の強さのために』と呼んでいます。この冊子の標準はわたしたちすべてに当てはまるのです。





**ベック姉妹**——わたしの冊子にはわたしの名前が書いてあって、自分のために書き込みもしてあります。標準は男女のどちらかのためとか、特定の年代のためにあるものではありません。神の子供たちのためのものです。

**『若人の強さのために』で教えられている主の標準を守ることによって、すぐに得られる祝福にはどのようなものがあるでしょうか。**

**ダルトン姉妹**——心の平安です。

**ベック姉妹**——聖霊を伴侶とすることができます。

**ダルトン姉妹**——そして自信です。2007年度ミュージナルのテーマと関連しています。「絶えず徳でああなたの思いを飾るようにしなさい。そうするときに、神の前においてあなたの自信は増[す]であろう。」(教義と聖約121:45) このような祝福がすぐに与えられることは大

切です。時々、青少年はこのように思うことがあるからです。「これを選べば友達が一人もいなくなる。」残念なことです、それはほんとうかもしれません。

**タナー姉妹**——わたしも中学1年生のときにそんな経験をしました。自分に正直でありたくて、人気があった女の子のグループの誘いを断ったのです。そのために友達がなくなり、悲しい思いをしましたが、自分が正しいことをしたという自信がありました。しばらくの間、その自信がわたしを支えてくれたに違いないと思っています。自分がほんとうに向き合わなければならない人々、つまり天の御父や家族に、今の自分ならまっすぐ向き合えるという確信がありました。でも、そう確信しているからといって、友達を失うことに心が痛まなかったわけではありません。

**ダルトン姉妹**——『若人の強さのた

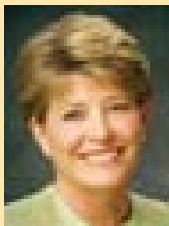
めに』は、標準に従って生活すれば問題がない人生を送れると約束しているわけではありません。しかし、「これまで以上の勇気を得て試練に耐える力が与えられる」と約束しています。(2ページ) パーティーの途中で抜けて帰ったことで、その先の友達付き合いは完全になりました。それ以降、人気のある子たちに無視されたのです。でも、あの夜には分かりませんでした、今分かることは、標準に従って生活することでリーダーになることができます。一人の若い女性あるいは一人の若い男性が勇気をもって標準を守り、ふさわしくない場所から立ち去ると、同じようにする勇気をほかの人たちに与えるからです。

**『若人の強さのために』の標準を守り続けることによって得られる長期的な祝福にはどのようなものがありますか。**

**ベック姉妹**——先週孫娘たちと買い物に行ったときの事です。一人の店員がわたしたちの楽しそうな様子を眺めているのが気がつきました。後で彼女にバスアロングカードを渡すと、こう言われました。「自分の人生の舵を取る時期が来たと思うのですが、どうしたらいいか分からないのです。」そこで、わたしたちはしばらく話をしました。わたしは最後に、幼い孫娘に注意を向けながら彼女にこう言いました。「わたしぐらいの年になったときにこのようでありたいと思うなら、今何を選ぶかをほんとうに慎重に決める必要があるわ。わたしがあなたの年ごろで選んだ事柄が今のわたしを形作ったのだから。」

**ダルトン姉妹**——長期にわたる祝福は世代を越えて波紋を広げます。今している小さなことが、自分や自分の子孫の行き着く先に大きな影響を与えるのです。また、前に生きた何世代もの人たちが犠牲を払ってくれたおかげで、わたしたちが福音の祝福に浴し、標準について知ることができているの





## 標準を人に伝える

ある若い女性は、友人に標準について質問されることで悩んでいました。「どうして16歳になるまでデートできないの?」「どうしてお酒を飲んじゃいけないの?」この状況に対処するにはどうしたらよいか祈ってみると、よい考えが浮かびました。『若人の強さのために』の冊子をいつもジーンズのポケットに入れておこう。だれかに質問

されたら——例えばデートに関する事だったら——この冊子を渡して、デートに関する項目を読むように言うわ。」

これは最高のアイデアでした。彼女は3か月間で『若人の強さのために』を52冊配りました。さらに、3人の新しい友人と一緒に教会に集うようになりました。

この若い女性は、親しみのこもった方法で勇敢に振る舞い、自分の標準に対して弁解がましく思いませんでした。青少年が毅然とした態度で恥じることなく標準を守るとき、人は彼らを尊敬し、模範に倣います。

中央若い女性会長会第二顧問、メアリー・N・クック

ちょうどクッキーが焼き上がったときに台所へ入ってしまいました。おいしそうなおいが充滿していて、二つに割ったクッキーからチョコチップが溶け出す様子がまざまざと浮かんできます。はたしてどのくらい味見しないでいられるでしょうか。どれくらい我慢できますか。それが誘惑を拒む、あるいは拒もうとするということです。しかし、チョコチップクッキーを食べないダイエットをしていて、クッキーを焼く台所に入らず、自分でも作らないなら、誘惑自体を避けることができるはずです。その方が簡単です。

**この義にかなった標準に従って生きる青少年は、どのようなことを達成できるでしょうか。**

**ベック姉妹**——サタンはあらゆる方向から青少年を攻撃しています。しかし、わたしたちには身を守る備えがあるので恐れる必要はありません。主の約束を信頼しましょう。主は、若い男性も若い女性も夢を見、示現を見るだろうと約束しておられ、末日に御霊を注いで義と真理が洪水のように地を満たすようにすると言われたのです(ヨエル2:28-32; モーセ7:62参照)。義にかなった青少年にできないことはありません。

**ダルトン姉妹**——教会の青少年は地上の業の最終段階において重要な役目を担っています。聖文では、そのときには様々な災難や出来事があると預言されていますが、『若人の強さのために』の標準を守って生活していれば、青少年は保護され、守られ、強められます。そして、人々に奉仕し、彼らにしかできないことを成し遂げられるようになるでしょう。

**タナー姉妹**——今日の青少年はヒラマンの軍隊のようです。ヒラマンの軍隊の青少年はニーファイの民を救うために育てられました。今日の教会の青少年はこの時代の民を救うために育てられているのです。■

だということを忘れてはなりません。

**青少年が誘惑に対処し、すぐに得られる祝福や長期的な祝福を享受するにはどうすればよいでしょうか。**

**ダルトン姉妹**——「何がいちばん大変ですか」と質問すると、多くの青少年はこのように答えます。「パーティーに行ってお酒を勧められたときに断ることです。」そこで、わたしは尋ねます。「どうしてパーティーに行くのですか。」

彼らはこう言います。「人の模範になるためです。」そんなとき、わたしは必ずこう言います。「御霊が感じられる所に友達を連れて来てください。御霊が行かないような所へ決して行ってはいけません。絶対に避けてください。」

**ベック姉妹**——七十人のリン・G・ロビンズ長老が話したたとえがあります。チョコチップクッキーを食べないダイエットをしているとしましょう。ところが、

# たぐいまれな本， たぐいまれな答え

グリゴール・A・タデポーシャン

わだかまりは  
不安の種に  
なりましたが、  
速やかに、  
靈感によって  
氷解しました。  
これは決して  
偶然ではないと  
感じています。

**問**もなくバプテスマを受けて教会の会員として確認されようとしていたとき、自分ははたして正しい道を選んでのだろうか、と非常に不安になりました。アルメニア、ギユムリ支部の宣教師たちは、わたしがモルモン書や教会に入ることに疑問を抱いていることを悟り、「ほかの人に福音について教えるときに一緒に来てみませんか」と誘ってくれました。

最初の家に着くと、ペリン長老は指定していた章を読んだかアニーチカという女性に尋ねました。彼女はこう答えました。「いいえ。忘れていました。」そこで皆で一緒にニーファイ第二書第29章から第33章を読みました。第29章を読んだとき、モルモン書についての預言、そして「聖書か、聖書か。我々はすでに聖書を持っている。これ以外に聖書があるはずがない」と言って末日に異邦人がモルモン書を拒むことについて(3節)学びました。この章は、レッスンの間中ずっとわたしの頭から離れませんでした。

次に別の家に行きました。そこでモルモン書を読んでいたとき、わたしたちが教えている女性の父親がこう聞いてきました。「その本は何ですか。」

わたしは、『モルモン書——イエス・キリストについてのもう一つの証』<sup>あかし</sup>という本であると説明しました。すると彼は怒りだして、こう言ったのです。「わたしたちはもう聖書は持っている。ほかの聖書なんてあるはずがない。」

わたしはつい10分前にアニーチカと一緒に読んだ章を思い出しました。



ペリン長老が話しました。「皆さんは聖書を持っています。聖書は古代における神の聖約の民が書いたものです。神は全人類を造られ、御自身の子供たちに御言葉を明らかにされます。御自身の子供とは、地上のすべての民を意味します。確かに皆さんは聖書を持っていますが、神がほかの民にも御言葉をお与えになるとは考えられませんか。」ペリン長老はこのように、モルモン書の起源について説明していきました。

わたしはそこで起きたことに驚きました。モルモン書の預言が成就するのを見ること以上に、モルモン書に対する自分のわだかまりを解くすばらしい証はありませんでした。

今、わたしは心の底からモルモン書が確かに真実の書物であると断言できます。神はすべての人を愛し、決してお忘れになりません。そのことを知っています。モルモン書がどれほどたぐいまれなものであるか、何度も実感してきました。■





# 同性に引かれる問題 に苦しむ人々を助ける



家族や友人の中に、同性に引かれて苦しんでいる人がいて、あなたに助けを求めたとします。その人に何と言ってあげればよいでしょうか。何ができるでしょうか。

十二使徒定員会  
ジェフリー・R・ホランド長老

**家**族や友人の中に、同性に引かれる問題に苦しんでいる人がいて、あなたに助けを求めたとします。その人に何と言ってあげればよいでしょうか。何ができるでしょうか。

さわやかな印象の20歳過ぎの青年がわたしの前に座りました。人を引きつけるほほえみを持っています。しかし、二人で話している間はあまりほほえみませんでした。わたしの目に留まったのは、彼のひとみが映す心痛の影でした。

彼はこのように語りました。「教会にとどまるべきかどうか分からないのです。自分がふさわしいとは思えません。」

わたしは尋ねました。「どうしてふさわしくないと思うのですか。」

「同性愛者だからです。」

彼はわたしが驚くだろうと思ったようでした。しかし、わたしは驚きませんでした。そして、重ねて尋ねました。「それで？」

わたしの変わらない思いやりの気持ちを感じ取った彼は少し安堵した様子でした。「女性に魅力を感じないのです。魅力を感じるのは男性です。こんな気持ちを見捨てよう、変えようと努力もしました。でも、……」

彼はため息をつきました。「わたしはどうしてこうなったのでしょうか。この気持ちは思い違いではなくまさに現実なのです。」

少し間を置いて、わたしはこう言いました。

「助言をする前に、もう少し聞きたいことがあります。お分かりのように、同性に引かれること自体が罪なのではなく、その感情を行動に移すことが罪なのです。これは異性に対して抱く気持ちと一緒にです。あなたは純潔の律法を破っていますか。」

彼は首を横に振りしました。「いいえ、破っていません。」

それを聞いてわたしはほっとしました。そしてこう言いました。「この問題に向き合おうとしてくれてありがとうございます。話すのには、さぞや勇気が要ったことでしょう。また、あなたが自分を清く保っていることに敬意を表します。」

しかし、なぜそのような気持ちになるのかという質問にはお答えできません。幾つもの要素が絡んでいるかもしれませんし、人の性格が十人十色であるように要素も様々だからです。あなたの気持ちの原因も含め、この世にいる間には答えが得られない事柄があります。しかし、原因を知ること以上に大切なのは、教えに背いていないことを知ることです。あなたの生活が戒めに添ったものであれば、あなたはふさわしく、教会で奉仕し、ほかの会員と同じように会員としての権利をすべて得て、神殿に参入し、救い主の贖い<sup>あがな</sup>がもたらすすべての祝福を受けることができるのです。」

青年は少し背筋を伸ばしました。わたしは続けて言いました。「同性に引かれるか異性に引かれるかに基づいて自分はどのような人間かを決めつけてしまうのは、決して得策ではありません。それだけがあなたを形作る特質では

ないので、必要以上に目を向けるのをやめましょう。あなたは何よりもまず神の息子であって、神はあなたを愛しておられるのです。

それに、わたしもあなたを愛しています。中央幹部の兄弟たちもあなたを愛しています。ボイド・K・パッカー会長が同性に引かれる人たちに向けて話した言葉を思い出します。彼はこう言いました。『わたしたちは皆さんを拒みません。拒むことなどできません。皆さんは神の息子、娘だからです。これから皆さんを拒みません。皆さんを愛しているからです。』<sup>1</sup>

わたしたちはそれからさらに30分ほど話しました。わたしは自分が彼の個人的な相談相手になれないと知っていたので、地元の神権指導者と相談するように指導し、別れを告げました。彼の目に、話す前にはなかった希望の光を見たように思いました。彼はこれからも解決しなければならない、あるいはひたすら堪え忍ばなければならない問題に直面することになりますが、上手に対処していけるだろうと感じました。

### 神はその子供たちを愛す

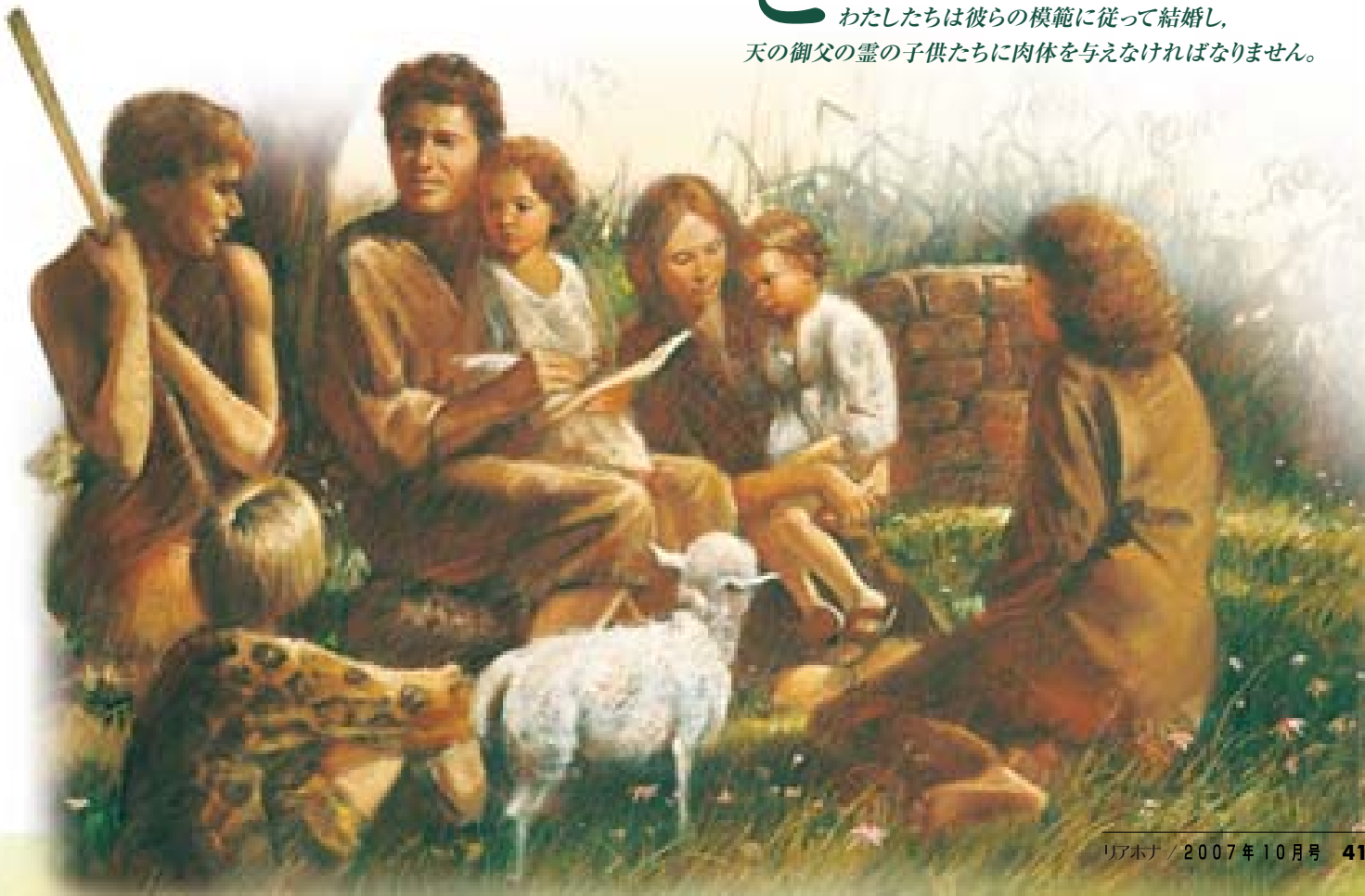
天使がニーファイに神について質問したとき、ニーファイは答えて言いました。「わたしは、神がその子供たちを愛しておられることは知っていますが、すべてのことの意味を知っているわけではありません。」(1ニーファイ 11:17) わたしも神

がその子供たちすべてを愛しておられる、と断言します。しかし同時に、同性に引かれる問題を含め、多くの疑問は遠い将来まで、もしかしたら来世に行くまで答えが分からないかもしれないことも承知しています。

不幸なことに、一部の人は自分は今あらゆる答えを持っていると確信し、至る所で自分の意見を吹聴して回ります。幸い、このような人が末日聖徒イエス・キリスト教会を代表することはありません。

きっと教会員は、自分と異なる人たちに思いやりを示したいと願っていることでしょう。けれども、理解できない状況に直面すると思わず身を引いてしまうのも人の常です。同性に引かれる問題に関しては特にそのような傾向があります。この種の問題に関して信頼できる情報があまりにも少ないため、助けたいと思っている人もどうしたらよいかよく分からないのです。わたし自身も決して詳しいとは言えませんが、役に立ちたいという心情から、同性に引かれる家族や友人を持つ人に役立つ方法について幾つか提案させていただきます。

この計画の中枢を成すのは、子供をもうけることです。アダムとエバは「生めよ、増えよ」と命じられました。わたしたちは彼らの模範に従って結婚し、天の御父の霊の子供たちに肉体を与えなければなりません。



## 御父の幸福の計画

まず間違いのないように、神がわたしたち一人一人に何を望んでおられるかを明確にしておきましょう。神はわたしたちに永遠の命に伴う祝福をすべて受けてほしいと望んでおられます。御自身のようになるのを望んでおられるのです。そして、それを成し遂げられるようにある計画をお与えになりました。その計画は永遠の真理に基づいており、その時代の社会的傾向に追従して変わるものではありません。

この計画の中樞を成すのが子供をもうけることです。これはアダムとエバがエデンの園を去った決定的な理由の一つです(2ニーファイ2:19-25;モーセ5:10-12参照)。「生めよ、増えよ」(モーセ2:28)と命じられたアダムとエバは、その戒めを守ることを選んだのです。わたしたちは彼らの模範に従って結婚し、天の御父の霊の子供たちに肉体を与えなければなりません。同性間の恋愛関係や性的な関係は、明らかにこの計画に反しています。

様々な理由から、すべての人にすぐに結婚して子供を持つ機会があるわけではありません。結婚を申し込まれるという経験をしない人もいますでしょう。結婚しても子供を授からない人もいますでしょう。あるいは、今は異性に興味が持てないという人もいますかもしれません。理由がどうであれ、清く忠実であれば、やがて神の最も豊かな祝福がすべての神の子供たちに与えられます。

信仰を働かせること、個人的に努力すること、そして贖いの力に頼ることを通して、この世にいる間に同性に引かれる傾向を克服して結婚する人もいますでしょう。しかし、そうでない人は、この世で同性に引かれることから逃れられないかもしれません。

同じ教会の会員、家族、友人としてわたしたちは、同性に引かれる人には感情の表し方に独特の制限があることを認識する必要があります。現実に同性に引かれても、絶対にそのような気持ちを行動に表してはならないのです。肉体的な欲求を満たしたいという願望があるからといって、不道德な行いが許されるわけではありません。その感情がどんなに強くても、人からふさわしい行動を選ぶ自由を奪うほど強力では決してないからです。

明確に伝えたいのは、厄介な問題とはいえ、引かれる気持ちがあるというだけでふさわしさが失われることはないということです。大管長会はこのように言っています。「単に不道德な思いや感情を抱くこと、実際に異性や同性と不道德な関係を結ぶこととの間には、はっきりとした違いがあります。」<sup>2</sup>

## さらに助けが必要な場合

大管長会と十二使徒定員会は、同性に引かれる問題を抱える人に向けて、『神はその子供たちを愛す』(アイテム番号04824 300)という冊子を発行しました。この記事は、冊子に掲載されているアイデアや表現を用いています。この冊子があなたの言語で入手可能な場合は地元の配送センターに注文するか、[www.lds.org/same-gender-attraction](http://www.lds.org/same-gender-attraction) からダウンロードすることができます。

誘惑に負けて行動に移さないかぎり、あなたは戒めに背いていないのです。

この違いが分からないために絶望してしまうことが時々あります。神が与えられるすべての祝福は律法に基づいており、その律法に従う人は皆、その祝福を受けられる(教義と聖約130:20-21参照)ということを理解しない人々のことを思うと、心が痛みます。福音に添って生きている人はだれ一人絶望する必要はありません。慰め主から希望と平安が与えられます。絶望から抜け出すための解決策は聖霊を生活に招くことです。

## 助ける方法

家族や友人の中に、同性に引かれて苦しんでいる人がいて、あなたに助けを求めたとします。その人に何と言ってあげればよいでしょうか。何ができるでしょうか。

わたしだったらまず、相手が息子であれ、娘であれ、兄弟あるいは友人であれ、相談を持ちかけた勇気を認めるところから始めると思います。そして、信頼してくれたことに感謝します。信頼できる人と問題を話し合うのは、混乱した感情を解きほぐす健全な第一歩です。そのような第一歩を踏み出したことに対して思いやりを示すのは何よりも大切です。

次に、もしあなたの子供が同性に引かれるのなら、自分に責任があるなど思い込まないでください。苦しんでいる本人も含め、だれかが責めを負うべき問題ではないのです。同時に、神を含めてほかのだれのせいにするべきでもありません。信仰をもって歩んでください。そして、愛する家族が最善を尽くしてこの問題に取り組めるように助けてあげてください。

同時に、結婚が必ずしも解決に結びつかないことも認めるべきです。同性に引かれる気持ちは非常に根強いものですから、無理やり異性関係を押しつけても、同性に引かれる気持ちを簡単に変えることはできません。このような問題で苦しむ人が結婚して、子供を育て、家族で幸せになれるのなら、それに越したことはありません。しかし、うまくいかずに、傷心と家族離散という結果になった場合もあるのです。

何よりも、心を開いて話ができる状態を保つようにしましょう。親子が互いに心を開いて話せば、愛していることをはっきりと相手に伝えることができ、純粋な愛を惜しみなく示すことで家族のきずなを変えることができます。しかし、家族を愛していても、不義な行いを容認すべきではありません。子供たちはもちろんあなたの家においていいのですが、どのような行為であれ、自分の家で主の御霊に反する行いを容認しない権利があなたにはあります。



## 庭の原則

次に、ガーデニングから学べる原則について考えましょう。良い種さえまけば、草取りの心配はあまりしなくて済むと言った人がいます。同じように、霊的な栄養で生活を満たしている人は比較的容易に自分の欲求を律することができるようになります。つまり、家庭で建設的な環境を作って御霊が豊かに注がれるようにすべきだということです。建設的な環境とは、個人的にも公にも絶えず礼拝し、祈り、断食し、聖文を研究し、奉仕することや、霊を高める会話、音楽、書籍、その他のメディアをいつも身の回りに置くことが含まれます。

環境に関するこのような考え方は、教会での経験にも当てはまります。同性に引かれる人の中には、自分の中にぬぐい切れない恐れを抱えているために、だれにもそのような意図がなくても、教会で傷つけられたと感じる人がいます。一方、自分と異なる人を仲間外れにしてしまう教会員もいます。わたしたちの言動のせいで、教会員としての利益を完全に享受できなくなった人がいたら、わたしたちはその人に対して、そして主に対して、義務を怠ったこととなります。どのような会員も受け入れ、奉仕し愛し合うことで互いに強め合うとき、教会ももっと強められます(教義と聖約84:110参照)。

**畑**に丈夫な苗を植えれば、  
雑草がはびこるのを防ぐ助けになります。  
同じように、神が与えられた霊的な栄養で  
生活を満たすなら、自分の欲求を  
制御しやすくなります。

靈感を受けて助言する鍵<sup>かぎ</sup>を持つ神権指導者に相談するよう、あなたが助けようとしている人に勧めるべきだと感じるかもしれません。その促しに従ってください。大管長会はこのような問題について、キリストのような愛の精神で内密に話し合うよう教会指導者に指示しています。<sup>3</sup>

## 主の御手<sup>みて</sup>の中で

しばらく前のことですが、同性に引かれる問題で苦しんでいる30代初めの男性から手紙をもらいました。彼は困難な闘いを続けていて、まだ結婚していません。しかし、彼はこう書いています。「主は現在の状況と向き合うことができるようわたしを助けてくださいました。わたしは今、最善を尽くすとともに、自分の人生を主の御手にゆだねることに満足しています。」

わたし自身が経験したことのない難しい問題を抱えて生きている彼の信仰と勇気に対し、称賛と敬意の涙を流さずにはいられません。彼を愛しています。そして、男性でも女性でも、彼のように「戦いをりっぱに戦いぬいて」いる大勢の人々を愛しています(1テモテ6:12)。同性に引かれる問題で苦しんでいる人々、あるいはそのような人々を助けているすべての人に、この兄弟のような姿勢を持つようにお勧めします。■

## 注

1. 「あなたがたは神の宮である」[リアホナ]2001年1月号、87参照
2. 大管長会からの手紙、1991年11月14日付
3. 大管長からの手紙、1991年11月14日付参照





## ジルベルト伯父さんの 記憶

エスター・ラビベ・デ・ペルーベン

**死**者のための儀式について知ったばかりのころ、夫が深い愛をもって祖母の神殿の儀式が執り行われるよう手配したことに感銘を受けました。それがきっかけとなって、自分の先祖についてもっと知りたいと思うようになりました。その後何年にもわたって、メキシコのグアダハララの自宅近くにある家族歴史センターの兄弟姉妹をはじめ、たくさんの人の助けを受けて、先祖のための業を進める方法を学ぶことができました。

わたしは1991年に祝福師の祝福を受けましたが、その中で、亡くなった親族を心に留めて、彼らのために力を尽くすように教えられました。以来、そのことを目標にして、教会員でない両親と毎日話し合うようになりました。親族についてしばしば質問したのですが、母は祖父母のことしか知りませんでした。

ある日母が、父の兄弟のジルベルト伯父さんが心臓発作で倒れたと告げました。そして母はこう言いました。「あなたにだったら伯父さんは喜んで話してくれるはずよ。とっても記憶力がいいから、親族についてたくさん教えてくれるでしょう。」

伯父のいる療養施設に電話すると伯母が出て、伯父の具合が

良くないので話せる状態ではないと言いました。わたしは見舞いの言葉を告げ、「お二人とご家族のために祈っています」と言って電話を切りました。

翌日、もう一度療養施設に電話してみました。すると驚いたことに、伯父が自分で電話に出たのです。

わたしはこう言いました。「ジルベルト伯父さん！伯父さんが良くなるように熱心に祈っていたことと、伯父さんが大好きだと伝えたくて電話したの。」

彼は答えて言いました。「ありがとう、ビビ。今朝目を覚ましたら、とっても気分が良くてね。お前の近況を教えてください。」

わたしはアラビアとレバノン出身の親族の名前をとっても知りたいと思っていたことを告げました。伯父の記憶力は母の言ったとおりでした。父方の家族4世代にわたって、名前も日付も地名も記憶していたのです。

**伯**父の記憶力は  
母の言った  
とおりでした。

父方の家族  
4世代にわたって、  
名前も日付も場所も  
記憶していたのです。

電話を終えたとき、わたしはそれがこの世で伯父と交わす最後の会話になるだろうと感じました。そしてそのとおりになりました。しかし、主はわたしたち二人を祝福してくださり、この世から永遠にわたって家族を結びつけるために必要な情報を得られるようにしてくださいました。■





## 教会への送迎

スティーブン・ベア

**わ**たしが7歳のとき、教会から足が遠のいていたある家族とわたしの両親が親しくなりました。母親が女手一つで二人の男の子を育てている家族でした。わたしと兄のジョンがその二人の男の子、ロビンとシャノンと同年だったので、友達になるにはぴったりでした。

その家族は車を持っていなかったもので、父の提案で近くの町にある彼らの家まで迎えに行き、教会まで乗せて行き、一緒に帰って来ることになりました。父がわたしと兄を呼んで一緒に迎えに行った日々を今でも覚えています。わたしは嫌々行っていたのですが、父はわたしの不平にかまわず、この家族が教会に元気に通うようになって車を持つまで送迎を続けました。ロビンとシャノンは間もなくバプテスマと確認の儀式を受け、母親も扶助協会に参加するようになりました。当時のわたしは、この奉仕の行いが自分に後々まですばらしい影響を及ぼすようになるとは思いませんでした。

わたしが中学2年生になる数か月前、父はこの世を去りました。その悲しみに加え、わたしは外見に自信がなく、友達もいませんでした。そのうちわたしは絶望感に打ちひしがれ、昼休みに独りぼっちで座っていることに耐え切れず、家まで昼食を食べに歩いて帰ってまた学校に戻って来るようになりました。

**父**の提案で二人の兄弟を迎えに行き、教会まで乗せて行き、一緒に帰って来ることになりました。当時のわたしは、この奉仕が自分に後々まですばらしい影響を及ぼすようになると思いませんでした。

その同じ年、親しくしていたあの家族が同じ学区に引っ越して来て、シャノンがわたしと同じ学校に通い始めました。わたしたち二人はすぐに仲良くなりました。わたしは自分が受け入れられたと感じ、悲しみも薄らいできました。喜んで自分の友達になってくれる人がいると知っただけで自信が付き、自尊心が高まりました。もう独りきりで昼休みを過ごすこともなくなりました。

わたしたちの友情は高校時代にいっそう深まりました。お互いの兄が大学に進み伝道に出た後は、まるでほんとうの兄弟のようになりました。ボーイスカウトでは、同じ授章式で一緒にイーグルスカウト章を受け、同じ大学に進学し、同じ夏に伝道に出ました。伝道後はルームメートになりました。二人ともすばらしい女性とソルトレーク神殿で結婚し、わずかに3か月違いで初めての子供が生まれました。

シャノンが結婚する少し前のある

晩、わたしたちは子供時代のことを話し始めました。わたしは、彼のおかげで自信のなさを克服して父の死を乗り越えることができたと言いました。彼の友情があったから生活を変えることができたのだと付け加えました。シャノンはわたしの父が自分たち家族を教会まで送ってくれなかったら、教会に行くことも、伝道に出ることも、家族と神殿で結び固められることもなかったらと言いました。

二人で話しているときに御霊を強く感じ、教会まで車で乗せて行くというささやかな行いが二人の人生に大きな祝福をもたらしたことを悟りました。シャノンの友情を思うと、父はシャノンの家族を救う助けをしただけでなく、自分の息子を救う友人も備えてくれたのだということが分かりました。■

## わたしの頭を つかんだのはだれ

ヒルド・ロジロ・フロレス

1972年、ペルーのピウラで開かれた聖餐会せいさんでのことでした。家族歴史の重要性について話していた話者の一人が、繰り返しわたしの顔を見詰めていました。話の終わりに彼が「わたしは、ロジロ兄弟がこの業を行うようになることを確信しています」と断言したので、わたしは驚いてしまいました。

当時わたしは教会員になってまだ1年もたっていなかったのですが、家族歴史を始めるという目標を立てました。その話者がそう言ったからではなく、そうしたいと思ったからです。まず4世代分の系図表を手に入れました。それから、両親や親戚しんせきの人たちに質問して情報を得ることから始めました。家族歴史に携わるときはいつも祈って主の助けを願い求めました。

あるとき、母方の曾祖父母そうそふぼの死亡年月日を調べるために、彼らが埋葬されたペルー北部のゾリトスという町へ旅することにしました。墓地は町外れにあり、死者の大部分はかまぼこ型の墓石の下に葬られていました。

墓地に入って探し始めましたが、何も見つかりません。そこでいったん町へ行って、ほんとうに曾祖父母がそこに埋葬されているのか、いどこに確認することにしました。彼女がそこにあるはずだと言ったので、わたしは「それじゃあ、探している日付が見つかるまで帰

らないことにします」と告げました。

もう一度墓地に戻り、方法を決めて探し始めました。墓の列を1列ずつ歩いては全部の墓碑銘に目を通すようにしたのです。それでも曾祖父母の墓が見つからなかったので、わたしはひざまずいて主の助けを請い願いました。それからもう一度探しましたが、結果は同じでした。わたしは疲れ、時間も遅くなっていました。また、ほかにも調べなければならないことが残っていたので、帰らなければなりませんでした。


「まあ、やるだけのことはやったのだから」と自分に言い聞かせました。目標は達成できなかったけれど、もう帰るしかないのです。

支度を整えて正面の出入り口の方を向きました。そして一歩踏み出そうとした途端、だれかの2本の手が、後ろからわたしの頭をつかんで、ある場所

の方へ向けようとするのを感じました。すると、地面と同じ高さに置かれた小さな荒れた墓石が目にとまりました。わたしはだれが頭をつかんだのか確かめようとして振り向きましたが、そこにはだれもいませんでした。

その墓石まで歩いて行って地面に横たわり、碑文の上の汚れを落としました。そこにはイシドロ・ガルシア・ロジロ、1934年8月1日没、フランシスカ・エスピノザ・ペルー、1954年1月31日没と刻まれていました。まさにわたしが探していた情報でした。わたしは心から感謝しました。

こうして1980年、先祖は待ちに待った救いの儀式を受けることができました。わたしと妻が自身のエンダウメントを受けるためにブラジル・サンパウロ神殿に行ったときのことです。わたしは神殿で妻と結び固められ、すでに



地面に横たわり、碑文の上の汚れを落としました。そこには、まさに探していた情報が刻まれていました。わたしは心から感謝しました。

この世を去った愛する先祖のためにバプテスマを受けることができたのです。

バプテスマフォントに入ったとき、わたしはあの墓地の小さな墓石を思い出していました。先祖を探そうと努力するわたしを主が導いてくださったことを思いながら、わたしは静かなフォントの水に下りて行きました。■

## ホームティーチャーとの祈り

ジュディ・ストーン

**白** 状するのは決まりが悪いのですが、わたしは、ホームティーチャーのことを祝福というよりもむしろ迷惑な存在だと考えていた時期がありました。当時は何かと用事を作っては彼らの訪問を逃れようとしたものです。

そんなふうでしたから、リンカーンがわたしたちのホームティーチャーに割り当てられたときは特にうんざりしました。彼が訪問を欠かすことなど一度もありませんでした。いつもきちんとレッスンを準備し、ホームティーチャーの務めを忠実に果たしました。わたしはといえば、彼の努力は認めていましたが、彼と同僚が月に1度の訪問に来ても話を熱心に聞くまでは至りませんでした。リンカーンはいつも誠意を示してくれたのに、わたしはいつも少しばかり失礼な態度で対応していたのです。

ある年の早春、わたしは庭仕事をしていました。その日はよく晴れた暖かい日でした。いつもだったら庭仕事に心を癒されるのですが、その日わたしの心は乱れていました。夫が背中の大手術を受けたばかりであり、さらに家

族として難しい決断を幾つも迫られていたからです。

答えを必要としていたわたしは思わず庭にひざまずいていました。涙を流しながら主の導きを求めて熱心に祈りました。少しでも平安を感じることができれば、と願っていました。心配しているほど将来は暗くないという確信を少しでも得たい、と思いました。希望を、そして何よりも平安を下さるよう、時には声に出して主に願い求めました。

主に懇願してから家に入ると、疲れ切っていました。少し休みたかったので家にだれもいないことを喜びまし

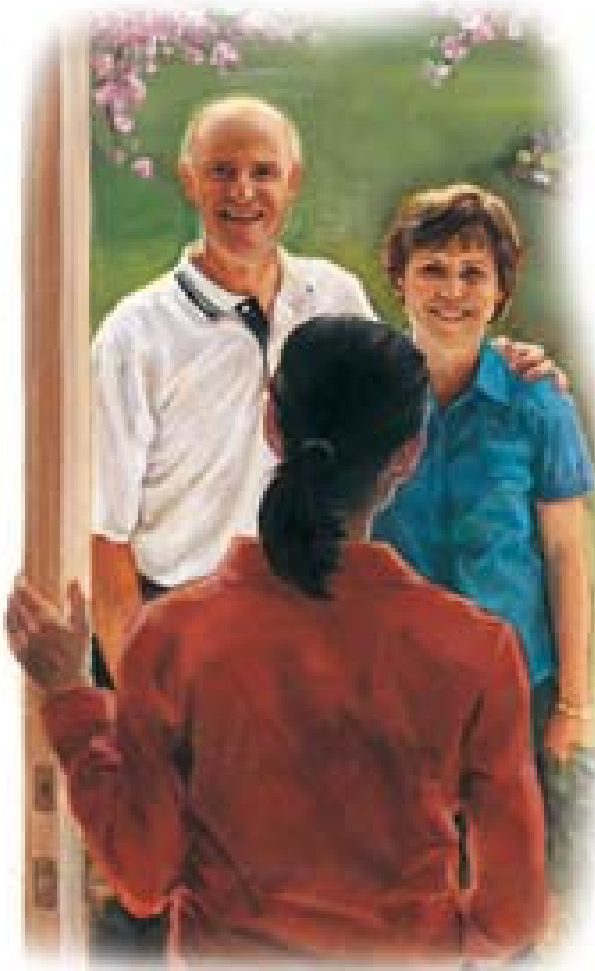
た。しかし、作業靴を脱いだ途端、玄関のベルが鳴りました。まさかリンカーンだとは思いませんでした。ドアを開けるとレッスンの教材を何も持たずにリンカーンと奥さんが立っていました。

彼を見てうれしく思ったのはそのときが初めてでした。二人を中に招き入れました。少し世間話をしてから、リンカーンが夫の仕事や5人の娘たちなど、家族の様子を尋ねてくれました。あまり長居はしませんでした。帰りがけに、「家族に祝福を残して行くのもいいですか」とわたしの許可を求めました。何より祈りを必要としていること

をどうして分かったのだろうと思いつつ、わたしはありがたく受け入れました。わたしたちはひざまずきました。彼の心地よい言葉に耳を傾けていると、彼はわたしたちの家庭に平安の祝福があるよう特にそこに焦点を当てて主に請い求めてくれました。

その瞬間、慰めが波のようにわたしの霊を満たすのを感じました。そしてそのとき、主が確かにすべてを治めておられ、何事もうまくいくと確信しました。

わたしの祈りは忠実なホームティーチャーのリンカーンを通して、確信を伴ってはっきりとこたえられました。リンカーンが自分の管理の務めを尊び、聖霊の促しに従ってくれたおかげで、彼の受けている神聖な召しについてもわたしは証を得ることができました。■





## 読者からの便り

### 大管長会メッセージ

『リアホナ』は、たくさんの人々が生活をより良いものとするうえで役立ってきました。善良な人生を送りたいと望むなら、大管長会メッセージをないがしろにすることはできません。大管長会メッセージは、わたしが生活を整えるうえで大きな助けとなりました。『リアホナ』を購入できないときもありますが、入手して読む度に、より善い人となる力を与えてくれます。

カナダ、エーブラハム・アガラニホ

### 教えに教えを加えて

バプテスマを受けて教会員になったばかりのころ、福音を完全には理解できませんでした。しかし、『リアホナ』を読むことで教えに教えを加えて理解を深めています。いろいろな人の経験談によって靈感を受けています。福音の原則の正しさを裏付けてくれるような良い記事が満載された機関誌を出版してください、ありがとうございます。フィリピン、フェデリコ・G・バルート・ジュニア

### 人々が福音を真に実践する方法

『リアホナ』が家庭や図書室に置かれていて、自由な時間や霊的な時間に読めることは、この上なく大きな祝福です。様々な地域に住む人々がどのように福音を実践しているかについて紹介されているすばらしい記事に感謝しています。『リアホナ』は皆の心を一つにしてくれます。読む人々は、恐れることはないという励ましや、自分は決して独りではないという安心感を得られます。

エクアドル、エルシー・カスティージョ

### 戻るように励まされました

わたしは子供のころに教会にあまり行かなくなりましたが、10代になって教会に戻ろうと思い始めました。わたしはこの重大な決断を下す前に、教会

に戻ることは自分にとってどのような意味を持つか、そしてどのような責任が伴うかについて祈り、深く考えました。

そのとき、過去に発行された『リアホナ』を読むと決心しました。励ましを与えてくれ、教会に戻りたいという望みを強めてくれる記事を探しました。

わたしと似たような経験をした人々の記事を読んだことは、大きな励みになりました。何よりも、教会に集っている人はだれも完全でないこと、そしてわたしにも欠点があってそれを克服するために何かをする必要があることを理解する助けになりました。

わたしは今、教会に戻っています。もちろん集会は以前集っていたときと同じなのですが、今は以前より前向きな姿勢で参加しています。これは、クラスや聖餐会を楽しむ方法について『リアホナ』で読んだアイデアのおかげでもあります。

『リアホナ』を読む度に、抱いていた疑問に答えが見つかるので、心が満たされます。

ドミニカ共和国、マリア・ビラール・サンタナ

### 愛する預言者の話

『リアホナ』を定期的に送ってください、感謝しています。わたしは93歳の読者です。バプテスマと確認を受けたその日からずっとこの機関誌を受け取ってきました。以前はもう少し小型でしたが、昔も今も興味の尽きない内容です。『リアホナ』のすべての記事を喜びをもって読んでいますが、特に愛する預言者の話に心を傾けています。総大会で毎年2度話を聞けることはすばらしいことです。

アメリカ合衆国、リディア・ドミンゲス

数か月前、4月号のチャーチニュース欄に掲載されたアンケートにお答えくださり、ありがとうございました。たくさんの方にご回答いただきました。皆様のご意見は『リアホナ』をより良いものとするうえで助けになります。前回のアンケートに間に合わなかった方も、よろしければ下記までコメントをお寄せください。

電子メール—

liahona@ldschurch.org

郵送—

Liahona, Comment 50

E. North Temple St., Rm. 2420

Salt Lake City, UT 84150-3220,

USA

頂いたご意見は、一部を割愛したり平明な文に手直ししたりすることがありますので、あらかじめご了承ください。

# この世の平安



主の宮で見つけましょう  
(ハガイ2:9；『賛美歌』158番参照)



「皆」さんに申し上げます。  
『神殿に参入してください。』  
自分のエンダウメントを受け、  
自分自身の祝福を授かり、  
主と聖約を交わすために  
神殿へ参入するというまたとない特権を  
楽しみにしている人もいます。  
すでに1, 2回神殿に参入している人も、  
あるいは頻繁に参入している人もいます。  
儀式執行者を務めている人もいます。  
いかなる状況であれ、  
どうぞ神殿に参入してください。」  
ボイド・K・バックナー会長  
「神殿に参入してください」14ページ参照



写真：フサス・フォトグラフィ社

# ジェームズ・E・ファウスト管長

## 愛すべき羊飼

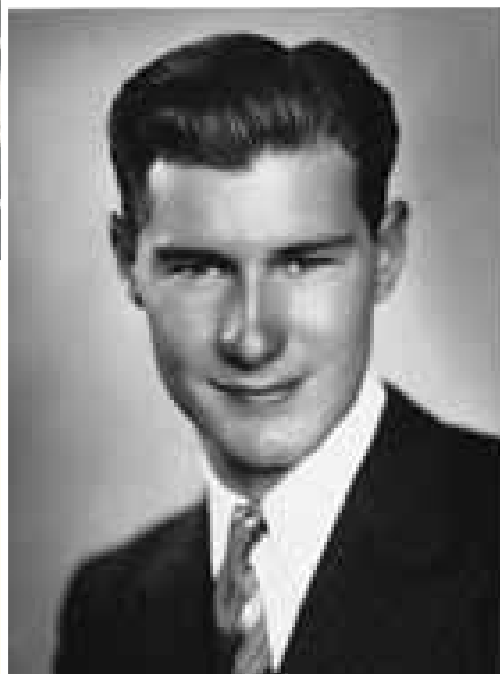
1920年7月31日 - 2007年8月10日





上—  
幼いジェームズ・  
ファウスト(右)。  
弟のレックス(左)  
およびダンとともに。

右—  
宣教師時代の  
ジェームズ・E・  
ファウスト。



ジェームズ・E・ファウストは、おびえた子羊の鳴き声を忘れることがありませんでした。少年のころ、飼っていた子羊を小屋に入れるのを忘れてしまい、その夜、嵐がやって来たのです。

「わたしは自分のペットを助けなければならないことを知っていましたが、安全で温かなベッドの中で、体をぬらさずになりたいと思いました。わたしは起きなければならなかったのに、起きませんでした。」ファウスト管長は、総大会の神権部会でそう回想しています。「翌朝、外に出てみると、子羊は死んでいました。子羊の鳴き叫ぶ声を聞きつけた犬が、殺してしまったのです。」

「わたしの心は引き裂かれんばかりでした。」自分が良い羊飼いではなかったことをはっきり自覚しました。父親の愛にあふれた叱責に、心はさらに痛みました。「息子よ、たった1頭の子羊の世話さえ、おまえに任せられないのかね。」<sup>1</sup>

その日、ジェームズは決意しました。もし再び羊飼いとなる機会があったなら、最善を尽くし、決して管理の務めを怠らないようにしよう

と。ブラジルで奉仕した専任宣教師として、愛情を尽くす夫および父親として、成功を取めた弁護士として、政治指導者として、十二使徒定員会の会員として、そして大管長会の第二顧問として、彼はその決意を忘れませんでした。2007年8月10日、老衰のため世を去り、その務めを終えるまで、「わたしの小羊を養いなさい」という主の勧告に献身的に従い続けました(ヨハネ 21:15)。

### 家族と信仰

ジェームズ・エドラス・ファウストは、1920年7月31日、ユタ州デルタで、ジョージ・A・ファウストとエイミー・フィンリンソン・ファウストの5人の息子の一人として生まれました。家族は後にソルトレーク・シティーに移り、そこで父ジョージは弁護士として、また地方裁判所の判事として働きました。家庭において、またユタ州中部にある祖父母の農場で、若いジェームズはキリストを中心とする家族の愛と支えを受け、正直、勤勉、奉仕といった徳を磨きました。

「わたしの父ほど素晴らしい父親はいません」<sup>2</sup>とファウスト管長は述べています。また母親について次のように回想しています。「母はキリストのような生活を完全に体現した、非常に霊的で信心深い女性でした。」<sup>3</sup>

大人となったファウスト管長は、両親を敬ってその模範に倣うように努め、常に家族と教会を優先しました。「夫または父親としての責任以上に大いなる責任はありません」<sup>4</sup>とファウスト管長は教えています。また教会とその使命について、「この御業に匹敵するものは地上には存在しません」<sup>5</sup>と宣言しています。

フットボールと陸上競技で活躍した高校時代を経て、1939年から1942年までブラジル伝道部で働くように召されました。そしてブラジルにいる間に、神の子供たちへの愛と、幸いを思う気持ちが開花しました。「わたしは生まれつき部分的に色覚異常なのです」とファウスト管長は語っています。「宣教師として、軍人として、また中央幹部として多くの国々を訪れ、肌の色にかかわらずすべての人々を愛することを学び



上——陸上競技のレースで走る学生時代の  
ジェームズ・ファウスト(左から4人目)。  
右——両親のエイミーとジョージ、  
息子ジェームズとともに。



ました。……特に、地位のない人や虐げられている人、貧しい人、苦しんでいる人、乏しい人、そして心の貧しい人のための弟子でありたいと思います。もしこれらを忘れたならば、決して〔主の〕弟子になれないことを、わたしはいつも覚えてます。』<sup>6</sup>

伝道から帰還して6週間後、ファウスト管長は合衆国陸軍航空隊に入隊します。そして1943年の休暇中に、高校時代に知り合ったルース・ライトと、ソルトレーク神殿で結婚しました。ファウスト管長は、第二次世界大戦のために離れ離れになっていた間、ルースに毎日手紙を書いています。<sup>7</sup> ファウスト夫妻の関係について、十二使徒定員会のジョセフ・B・ワースリン長老は、「二人はすばらしい結婚生活の完全な手本です」<sup>8</sup>と述べています。

ルース姉妹と5人の子供、25人の孫、27人のひ孫へのファウスト管長の深い愛情と、ファウスト管長に対するルース姉妹の変わらぬ支えは、二人を知るすべての人のよく知るところでした。

「わたしは父親としても成功しなければこの召しに成功を取められないこと、子供たちがわたしの生活にとって常に大切なことをわたしの子供たちに知ってほしいと心から思います。」<sup>9</sup>

1972年に十二使徒定員会補助に召された後、ファウスト管長はそう語っています。6年後に十二使徒定員会の会員として支持を受けたとき、まず最初に思ったのは、ルース姉妹を見つけることでした。<sup>10</sup> ルース姉妹について、ファウスト管長は「心臓と霊と同様、わたしの一部です」<sup>11</sup>と述べています。

### 道徳の羅針盤

1942年、幹部候補生学校に出願して間もなく、ファウスト管長は審査委員会に呼ばれました。受けた質問は、大半が彼の標準や信条に関するものでした。たばこを吸うか。酒を飲むか。祈るか。ファウスト管長は、相手の気分を害するのではないかという不安を持ちながらも、どの質問にもあいまいな言葉を使うことなく答えました。次に、戦争中は道徳的な規範を緩めるべきと思うかどうかを尋ねられました。

「ここは少し意見を述べさせてもらい、寛大などころを見せるチャンスだと思いました」と、ファウスト管長は述べています。「この質問をした人々は、わたしが教えられてきた標準に従って生活してはいないだろうと思いました。一瞬考えたのは、自分には自分の信条があるが人に

### ジェームズ・E・ ファウスト管長—— 生涯における おもな出来事

1920年7月31日  
ユタ州デルタで  
ジョージ・A・ファウストと  
エイミー・フィンリンソン・  
ファウストの子として  
生まれる。

1937年- 1939年  
ソルトレークシティの  
ユタ大学で学ぶ。

1939年- 1942年  
ブラジルで伝道する。

1943年4月21日  
ソルトレーク神殿で  
ルース・ライトと結婚する。

1942年- 1945年  
第二次世界大戦中、  
合衆国陸軍航空隊に所属し、  
中尉として名誉除隊する。

1948年  
学士号および法学博士号を  
取得してユタ大学を卒業する。  
ソルトレークシティで  
弁護士として開業する。



**1949年5月8日**

ビッグコットンウッドワードの  
ビショップとして支持される。

**1949年-1951年**

ユタ州下院議会議員を務める。

**1956年3月18日**

コットンウッドステーキ会長  
として支持される。

**1962年5月31日**

ユタ弁護士会会長に  
選出される。

**1962年**

ジョン・F・ケネディー  
合衆国大統領より、  
公民権と人種問題に関する  
弁護士委員会に任命される。

**1968年12月14日**

地区代表として召される。

**1970年1月**

『デゼルトニュース』  
(Deseret News)の  
取締役役に任命される。

**1972年10月6日**

十二使徒定員会補助として  
支持される。

**1976年10月1日**

七十人第一定員会会長に  
任命される。



左上——ルース・ライト・ファウスト。  
上——ファウスト長老とファウスト姉妹。  
1980年ごろ。  
右——結婚式の写真。1943年。

押し付けたくはない、と言うことでした。しかし  
そのとき、わたしが伝道中に純潔の律法を教え  
たたくさんの人たちの顔が、さっと浮かんでしま  
いました。最後にわたしは簡潔にこう答えました。  
『道徳に二つの標準はないと信じています。』<sup>12</sup>  
驚いたことに、ファウスト管長は審査に合格  
し、幹部候補生学校の生徒として選抜されたの  
でした。

「わたしは長い人生を通して、自分が何者で  
あり、何を信じているのかを隠さないように努  
めてきました。」ファウスト管長は、自身にと  
って最後となった総大会でそう語っています。  
「自分がこの教会の会員であることをへりくだ





て認めることで、職歴に傷がついたり、貴重な友人を失ったりしたことは一度もありません。』<sup>13</sup>

ファウスト管長が「道徳の羅針盤」と呼んだ正直さは、弁護士であった24年間に豊かな実りをもたらしました。公平であり、賢明な選択をし、人に思いやりと関心を示す人物であるという評判とあいまって、ファウスト管長の誠実さは、彼を同僚たちの中で際立たせ、職業において、市や地域の議会で、また地域社会において、様々な務めを果たす機会をもたらしました。



写真／エルドン・K・リンショープ



写真／ニーマンフォークライ

1949年から1951年までユタ州議会議員を、また1962年から1963年までユタ弁護士会会長を務め、ジョン・F・ケネディー合衆国大統領の公民権と人種問題に関する弁護士委員会や、ユタ州法改正委員会の一員としても働きました。

人の気持ちが理解でき、また優れた能力も兼ね備えているファウスト管長ならではの資質は、ビショップ、高等評議員、ステーク会長、地区代表、十二使徒補助、七十人、および使徒として働くうえでも役立ちました。十二使徒定員会のニール・A・マックスウェル長老(1926年-2004年)は、「彼はその一つ一つの召しを通して、良い指導者はいつもよく耳を傾けるということを示してきました」<sup>14</sup>と述べています。

### 橋を架ける

控えめで、称賛をすぐに人に譲るファウスト管長ですが、何十年にもわたる奉仕を通じて、教会に数々の重要な貢献をしてきました。法律の知識を生かし、教会の広報委員会の一員として、

ユタ州におけるパリティ方式の馬券発売案に関する問題を含め、道徳に関連する政治的課題に取り組みました。また、教会のロゴを、イエス・キリストを強調したものに変更することを提唱しました。さらに、ある世界的な広告会社と教会が契約するように尽力し、その会社の協力の下で、教会はメッセージを広め、誤解を正し、メディアとの関係を改善してきました。

ファウスト管長はまた、ほかの信仰を持つ人々やその指導者との橋渡しの役割を熱心に果たしました。そしてそのような取り組みにおいて、容易に怒ることなく、むしろ辛抱強さや優しさ、思いやりをためらうことなく示しました。

ファウスト管長夫妻が出席したある地域のイベントで、別の宗教の指導者が教会を批判したことがありました。ファウスト姉妹はそのときのことを次のように話しています。「話を聞いているうちに、わたしはどんどん腹が立ってきたのですが、ジムはただ辛抱強く耳を傾けていました。その後、ジムはその人のところに行くと、こう言いました。『もしそうお感じなら、わたしたちに何か問題があるに違いありません。昼食を御一緒させていただきませんか。気になっていらっしゃることをお聞かせいただきたいのです。』彼らはそのようにし、それ以来二人は親しい間柄になりました。』<sup>15</sup>

1980年代、ファウスト管長は、近東研究を行うBYUのエルサレムセンターを設置する構想

上——  
**新たに十二使徒定員会  
の一員となった  
ファウスト長老(中列左)。  
1979年ごろ。**  
左——  
**ファウスト管長夫妻と  
子供たち。**





左——1995年、教会の新しい指導者が紹介された記者会見にて。

大管長会第一顧問

トーマス・S・モンソン管長(左),

ゴードン・B・ヒンクレー大管長,

大管長会第二顧問

ジェームズ・E・ファウスト管長,

および十二使徒定員会会長代理

ボイド・K・バックー会長。

下——大管長会, ユタ州

マウントティンパノガス神殿にて。

1977年6月

国際伝道部を管理するよう  
召される。

1978年9月30日

十二使徒定員会会員として  
支持される。

1995年3月12日

大管長会第二顧問として  
任命される。

1998年4月27日

世界でこくわずかな  
指導者にしか授けられない  
ブラジル名誉国民賞を  
受賞する。

2000年

7つの神殿を奉献する。  
メキシコ・オアハカ,  
メキシコ・トウストラグティエレス,  
オレゴン州メドフォード,  
テネシー州メンフィス,  
テネシー州ナッシュビル,  
コスタリカ・サンホセ,  
オクラホマ州オクラホマシティ

2007年8月10日

ユタ州ソルトレークシティ  
において、87歳で死去する。

を実現するため、当時十二使徒であったハワード・W・ハンター大管長(1907年-1995年)、および当時ブリガム・ヤング大学学長であったジェフリー・R・ホランド長老とともに密接に働きました。ファウスト管長とハンター大管長は、懸命な交渉の末、粘り強く障害を乗り越えて、土地を借り、センターの建設を監督しました。

その過程を見ていたある人は、次のように語っています。「ファウスト長老は確かに平和の人でした。わたしたちをエルサレムから撤退させようと興奮することも多いユダヤ人の友人たちの気持ちを静めるため、あるいは、障害を前に時々不愉快な思いをしていたエルサレムの末日聖徒の間の荒波を静めるために、いつも方法を探し求めていました。」<sup>16</sup>

### 手を差し伸べる

ファウスト管長は、1975年から1977年までブラジルで南アメリカの地域スーパー

バイザーとして働き、1977年には七十人第一定員会会長会の一員として国際伝道部を管理しました。また、1978年からは使徒として教会員を教え導き、1995年からはゴードン・B・ヒンクレー大管長の第二顧問として働きました。どの務めにあっても、常に優しさと兄弟愛の精神で人々に手を差し伸べるように努めました。

大会ではよく救い主の二つの大切な戒め、すなわち神を愛して神に仕えることと、神の子供たちを愛して彼らに仕えることに関連した説教をしました。温かさ<sup>あかし</sup>と機知と知恵を持つファウスト管長は、祖父のような温かさをたたえて教壇に立ち、その証を聞き勧告を心に留めたいすべての人の生活に祝福をもたらしました。

「世界のあらゆるもののうち、最も偉大な大義〔は〕、わたしたちの御父の子供たち一人一人の救い〔です〕」<sup>17</sup>とファウスト管長は語っています。「人生最大の充実感<sup>あかし</sup>は、……人々に仕えるときに得られます。」<sup>18</sup>





### 葬儀における大管長会の弔辞

「ファウスト管長の持つ知恵は深遠でした。それは多くの分野における長い経験から来るものでした。弁護士の知性と、教会指導者の思いやりを備えていました。……回復された福音の真理を信じる信仰は揺るぎないものでした。ジョセフ・スミスの預言者としての召しに関して、そしてモルモン書が真実の書物であることに関して、一片の疑いも抱いていませんでした。……

ファウスト管長は、平安と愛と光のうちに世を去りました。彼を思い起こすときに平安がありますように。彼と交わることのできたわたしたちは皆、より豊かな人間になりました。」

ゴードン・B・ヒンクレー大管長

「ファウスト管長は経験の人、知恵の人、愛の人でした。また信仰の人、祈りの人、そして何よりも神の人でした。その武具には弱い所がなく、心には偽りがなく、人柄には欠点がありませんでした。

死すべき生涯の最後に至るまで、ファウスト管長は心と霊を尽くして主を愛し、勢力を尽くして主に仕えました。……彼は真理の教師でした。誉れと愛の受け継ぎを残してくれました。ファウスト管長の思い出を、神が祝福してくださいますように。」

大管長会第一顧問  
トーマス・S・モンソン管長

2007年8月の大管長会メッセージの中で、ファウスト管長は、「既婚か未婚かを問わずあらゆる教会員が成長し、幸福になる機会を得てほしい」と願っていると述べています。そして良い羊飼いのたとえを思い起こして、こう付け加えています。「いろいろな方法で手を差し伸べることにより、わたしたちの助けを必要としている人を探し出すことができます。」<sup>19</sup>

最後の総大会では、救しのもたらす癒しの力について証しています。「たとえ重大な犯罪であっても『わたしたちに対して過ちを犯す者』[ジョセフ・スミス訳マタイ6:13]を赦すすべての人は、贖いによって必要な平安と慰めを受けるのです。赦されるためには赦す必要があるということを忘れないようにしましょう。……わたしは、『すべての人を赦しなさい[教義と聖約64:10]という救い主の勧告に従うときにもたらされる癒しの力を、全身全霊を込めて信じています。』<sup>20</sup>

### 証

ファウスト管長はその務めの期間を通じて、モルモン書、回復、預言者ジョセフ・スミス、そして歴代の大管長が持つ鍵と権能について度々証を述べました。「わたしたちが今日耳を傾けなければならないのはヒンクレー大管長の声です」と宣言しています。「最良のことがわたしたちに起こるように大管長の勧告に従うのです。」<sup>21</sup>

また救い主についても熱烈な証を述べていて、「キリスト、神の御子」の歌詞を書き、次のように証しています。「聖なる使徒職を持つわたしたちは、救い主の神性を証することにより、自分の責任を全うしたいと常に願っています。わたしはそうせずにはいられない気持ちです。この半生の間、いつも証がありました。しかし最近、この聖なる業が神のものであるという強烈な証が、わたしの心にもたらされたのです。この確かな証は、以前よりもさらに揺るぎないものになりました。」<sup>22</sup>

ファウスト管長は、少年時代のあのおびえた子羊を決して忘れることがありませんでした。そして群れを管理する者としての決意を常に心



**上——タバナクルで語る  
若いころのジェームズ・ファウスト。  
1970年ごろ。  
右——2007年4月の総大会で  
説教するファウスト管長。**



写真／ウエルデン・C・アンダーセン

に留めていました。自らが「不動の」<sup>23</sup>証を抱く良い羊飼いに倣おうと努めることによって、ファウスト管長の生涯は彼の最高の説教、すなわち愛すべき羊飼いの説教となったのです。■

**注**

1. 「羊飼いの責任」『聖徒の道』1995年7月号, 52
2. 「人間をすなだる漁師として」『聖徒の道』1973年5月号, 223参照
3. W・グラント・バンガーター, “Elder James E. Faust,” *Ensign*, 1986年10月号, 7で引用
4. 『聖徒の道』1995年7月号, 52
5. 「豊かな命を求める」『リアホナ』2000年11月号, 5
6. 「召しにこたえて」『聖徒の道』1979年2月号, 30参照
7. ニール・A・マックスウェル「ジェームズ・E・ファウスト副管長」『聖徒の道』1995年10月号, 21参照
8. ジェームズ・P・ベル, *In the Strength of the Lord: The Life and Teachings of James E. Faust* (1999年), 229で引用
9. 『聖徒の道』1973年5月号, 223参照
10. “Elder James E. Faust of the Quorum of the Twelve,” *Ensign*, 1978年11月号, 95参照
11. *Ensign*, 1978年11月号, 20
12. 「正直——道徳の羅針盤」『聖徒の道』1997年1月号, 50参照
13. 「孫へのメッセージ」『リアホナ』2007年5月号, 56参照
14. 『聖徒の道』1995年10月号, 20
15. *In the Strength of the Lord*, 178
16. デビッド・ガルブレイス, *In the Strength of the Lord*, 207で引用
17. 「行って、彼らを平原から連れて来なさい」『聖徒の道』1997年11月号, 8
18. 「何の得になるんだ」『リアホナ』2002年11月号, 22
19. 「一人残らず歓迎しましょう」『リアホナ』2007年8月号, 3, 5
20. 「救しをもたらす癒しの力」『リアホナ』2007年5月号, 69
21. 「わたしには起こるはずがない」『リアホナ』2002年7月号, 53
22. 「律法の中でもっと重要な、公平とあわれみと忠実」『聖徒の道』1998年1月号, 65
23. 『聖徒の道』1995年10月号, 19